

〔青森県立高等学校将来構想検討会議（第2回）資料〕

本県高等学校教育の現状・検証方法

平成26年8月1日

青森県教育委員会

目 次

I	青森県立高等学校の概要.....	1
II	学科等の現状.....	3
1	全日制の課程.....	3
(1)	普通科等.....	3
①	普通科.....	3
②	理数科.....	5
③	英語科.....	7
④	外国語科.....	9
⑤	スポーツ科学科.....	11
⑥	表現科.....	13
(2)	職業教育を主とする専門学科.....	15
①	農業科.....	15
②	工業科.....	19
③	商業科.....	23
④	水産科.....	25
⑤	家庭科.....	27
⑥	看護科.....	29
(3)	総合学科.....	31
2	定時制の課程.....	33
3	通信制の課程.....	37
III	多様な教育制度の現状.....	39
1	全日制普通科単位制.....	39
2	総合選択制.....	40
3	中高一貫教育.....	41
(1)	併設型中高一貫教育.....	41
(2)	連携型中高一貫教育.....	43
4	その他特色ある取組.....	45
(1)	スーパーサイエンスハイスクール（文部科学省事業）.....	45
(2)	スーパーグローバルハイスクール（文部科学省事業）.....	46
IV	これまでの高等学校教育改革の検証方法.....	47
1	高等学校教育に関する意識調査.....	47
2	多様な教育制度等に対するアンケート調査.....	47
3	県高等学校長協会への意見照会.....	48
4	県小学校長会及び県中学校長会への意見照会.....	48
5	学校視察.....	49

I 青森県立高等学校の概要

〔課程の種類〕

全日制の課程	通常の課程
定時制の課程	夜間その他特別の時間又は時期において授業を行う課程
通信制の課程	通信による教育を行う課程

(学校教育法第4条)

〔学年制と単位制〕

学 年 制	学年ごとに教育課程の修了の認定を受けて学習していく制度
単 位 制	学年による教育課程の区分を設けず、決められた単位を修得すれば卒業が認められる制度

〔県立高等学校の設置状況（平成26年度）〕

課程・学科等			東青	西北	中南	上北	下北	三八	
全日制	学年制	普通科等	普通科	青森 青森西 青森東・平内 青森北 青森北・今別 青森南 浪岡	五所川原 金木 鱒ヶ沢 板柳 鶴田 中里	弘前 弘前中央 岩木 黒石	三本木 十和田西 三沢 野辺地 六戸 百石 六ヶ所	田名部 田名部・大畑 大湊・川内 大間	八戸 八戸東 八戸北・南郷 八戸西 三戸 五戸 田子
			理数科		五所川原				
			英語科				三沢	田名部	
			外国語科	青森南					
			スポーツ科学科	青森北		弘前実業			八戸西
		表現科						八戸東	
		職業教育を主とする専門学科	農業科		五所川原農林	柏木農業 弘前実業 弘実・藤崎	三本木農業		名久井農業
			工業科	青森工業	五所川原工業	弘前工業	十和田工業	むつ工業	八戸工業 南部工業
			水産科(専攻科 ^{※1})						八戸水産
			商業科	青森商業		弘前実業 黒石商業	十和田西 三沢商業		八戸商業
	家庭科 看護科(専攻科 ^{※1})				弘前実業 黒石	百石			
	単位制	普通科	青森東		弘前南			八戸北	
		総合学科	青森中央	木造 木造・深浦		七戸	大湊		
	定時制	3部制 ^{※2}	普通科	北斗				八戸中央	
総合学科					尾上総合				
夜間		普通科		五所川原		三沢	田名部		
		工業科	青森工業		弘前工業			八戸工業	
通信制	単位制	普通科	北斗		尾上総合		八戸中央		

※1 専攻科 … 高等学校を卒業した者が、より専門性の高い知識や高度な技術を身に付けることを目的として、本県では看護科と水産科に設置。

※2 3部制の定時制の課程 … 午前、午後、夜間等の時間帯で授業を行い、仕事の時間や学習スタイルに合わせて、他の部の授業を受けることなどにより3年での卒業も可能。

〔多様な教育制度の導入校（再掲）〕

①全日制普通科単位制…39頁参照

青森東高等学校、弘前南高等学校、八戸北高等学校

②総合選択制…40頁参照

弘前実業高等学校

③中高一貫教育校…41頁参照

ア 併設型中高一貫教育校

三本木高等学校（附属中学校）

イ 連携型中高一貫教育校…43頁参照

田子高等学校（田子町立田子中学校）

（参考：私立高等学校）

課程・学科等			東青	西北	中南	上北	下北	三八	
全日制	学年制	普通科等	普通科	東奥学園 青森山田 青森明の星 松風塾	五所川原第一	東奥義塾 弘前学院聖愛 柴田女子 弘前東			八戸聖ウルスラ学院 八戸学院光星 向陵 八戸工業大学第一 八戸工業大学第二
			英語科	青森明の星					八戸聖ウルスラ学院
			音楽科	青森明の星					八戸聖ウルスラ学院
	学年制	職業教育を主とする専門学科	工業科	青森山田		弘前東			八戸学院光星 八戸工業大学第一
			商業科	青森山田	五所川原商業	柴田女子			千葉学園 八戸学院光星
			家庭科	東奥学園 青森山田		柴田女子			千葉学園 八戸学院光星
			情報科	東奥学園					
			福祉科	東奥学園					八戸学院光星
			看護科					千葉学園	
	単位制		総合学科				八戸学院野辺地西		
通信制		普通科	東奥学園 青森山田	五所川原第一					

II 学科等の現状

1 全日制の課程

(1) 普通科等

① 普通科

ア 大学科の概要

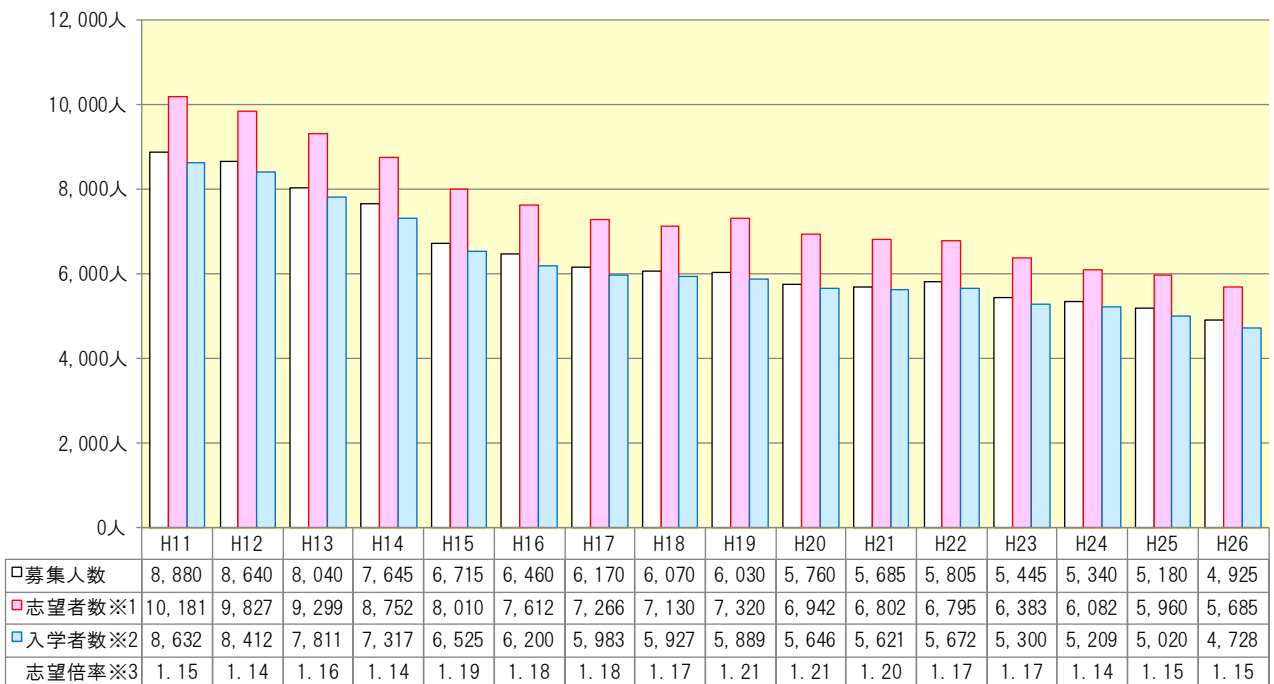
普通教育を主とする学科。国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、情報などの教科・科目を中心に学習する。

イ 設置校（平成26年度に生徒を募集した学校：37校）

地区	学校名(H26募集人数)
東青	青森(280)、青森西(240)、青森東(280:⊕)、青森東・平内(40)、青森北(200)、青森北・今別(40)、青森南(200)、浪岡(70)
西北	五所川原(160)、金木(70)、鱒ヶ沢(70)、板柳(70)、鶴田(70)、中里(40)
中南	弘前(280)、弘前中央(240)、弘前南(240:⊕)、岩木(70)、黒石(120)
上北	三本木(240)、十和田西(35)、三沢(200)、野辺地(160)、六戸(70)、百石(120)、六ヶ所(70)
下北	田名部(160)、大湊・川内(40)、大間(80)
三八	八戸(240)、八戸東(200)、八戸北(240:⊕)、八戸北・南郷(40)、八戸西(200)、三戸(70)、五戸(70)、田子(70)

(⊕は単位制、それ以外は学年制)

ウ 志願・入学状況



(進路志望状況第一次調査、学校基本調査より)

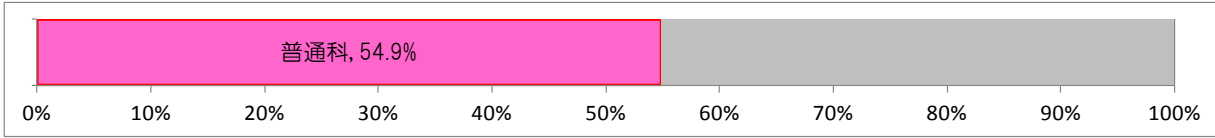
※1 志望者数は、進路志望状況第一次調査（前年11月実施）の志望者数

※2 入学者数は、5月1日現在の第1学年の在籍生徒数

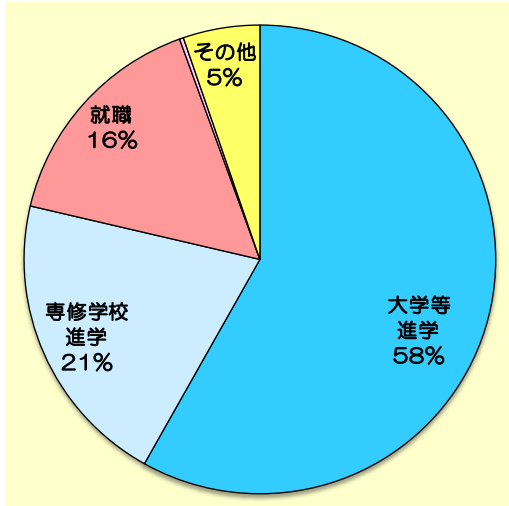
※3 志望倍率は、募集人数に対する進路志望第1次調査（前年11月実施）の志望者数の割合

(以下、他学科も同じ)

工 進路状況（平成25年3月卒業者）
〔全日制課程卒業者に占める普通科の割合〕



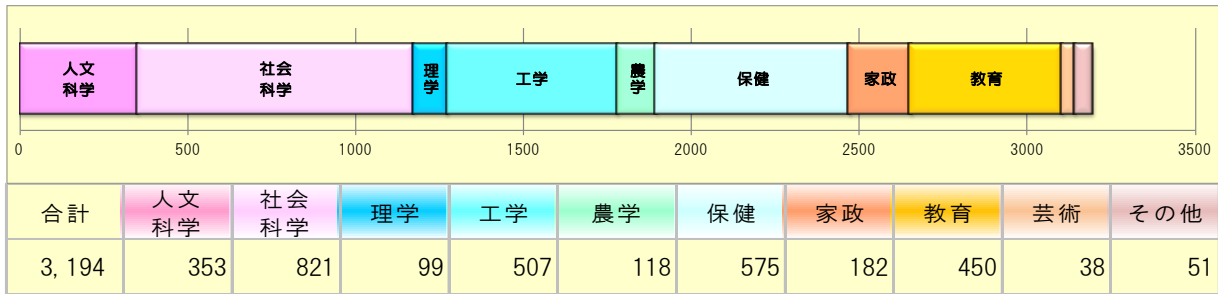
〔進路状況〕



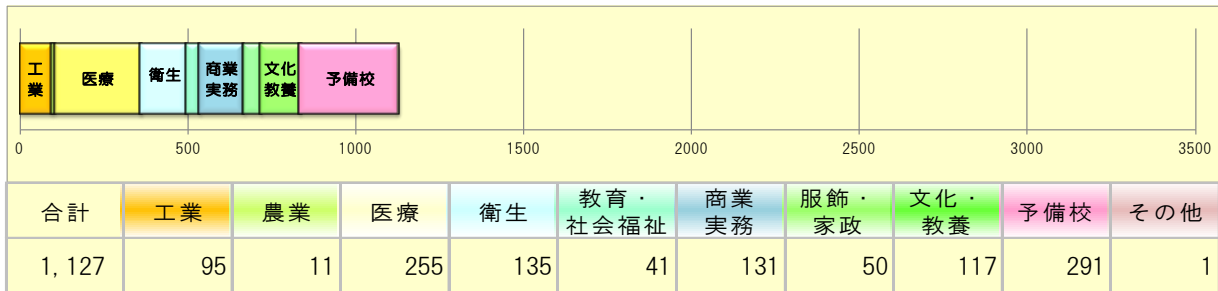
卒業生数	大学等進学	専修学校進学	就職	一時的な仕事	その他
5,493	3,194	1,127	868	15	289

（学校基本調査及び高等学校等卒業者の進路状況調査より）
※「大学等進学」とは、大学、短期大学、放送大学、高等学校専攻科等への進学。
「専修学校進学」とは、専修学校、各種学校、公共職業能力開発施設等への進学。
「その他」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者、進路が未決定の者等。

〔大学等進学〕



〔専修学校進学〕



〔就職〕



※進学しかつ就職した者を含む

②理数科

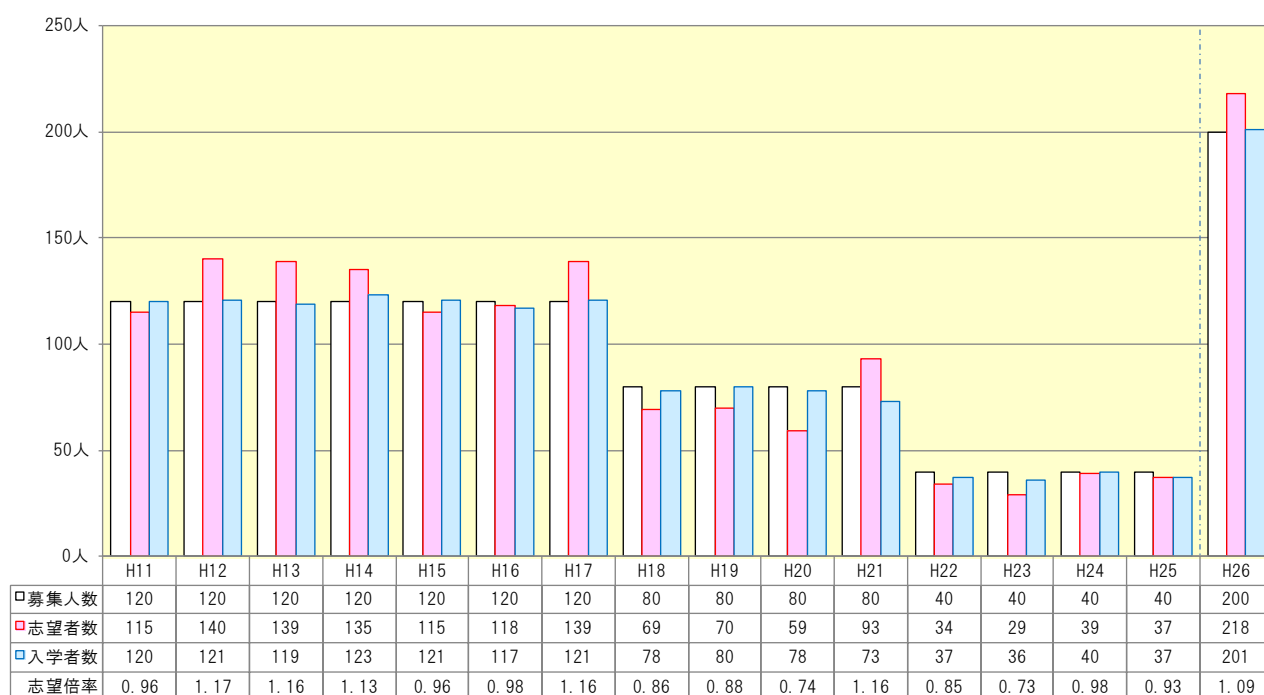
ア 大学科の概要

科学及び数学における基本的な概念、原理・法則などについての系統的な理解を深め、科学的、数学的に考察し表現する能力と態度を育て、創造的な能力を高めることを目指す学科。

イ 設置校（平成26年度に生徒を募集した学校：1校）

地区	学校名 (H26募集人数)
西北	五所川原 (40)

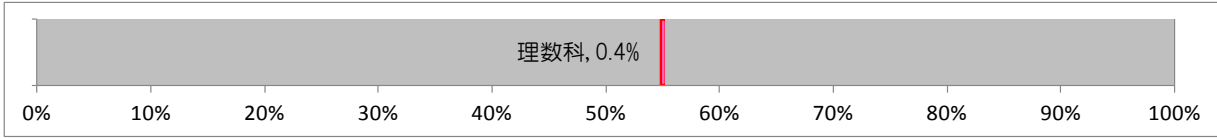
ウ 志願・入学状況



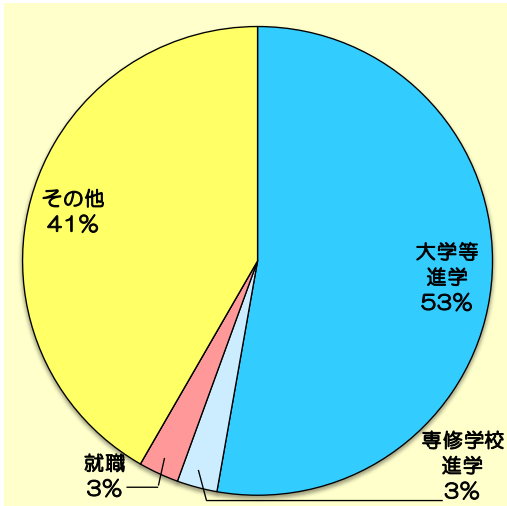
（進路志望状況第一次調査、学校基本調査より）

※平成26年度から普通科とのくくり募集

工 進路状況（平成25年3月卒業生）
〔全日制課程卒業者に占める理数科の割合〕



〔進路状況〕



(人)

卒業生数	大学等進学	専修学校進学	就職	一時的な仕事	その他
36	19	1	1	0	15

〔学校基本調査及び高等学校等卒業生の進路状況調査より〕

〔大学等進学〕

(人)



〔専修学校進学〕

(人)



〔就職〕

(人)



※進学しかつ就職した者を含む

③英語科

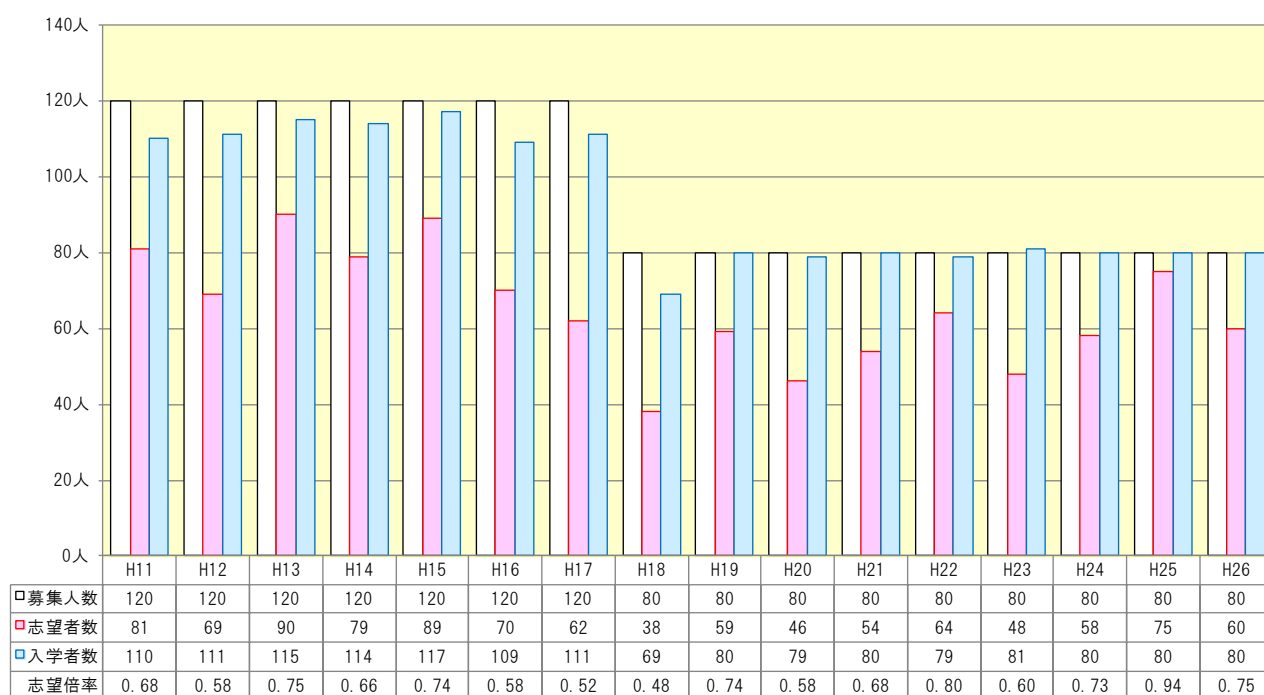
ア 大学科の概要

英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養うことを目指す学科。

イ 設置校（平成26年度に生徒を募集した学校：2校）

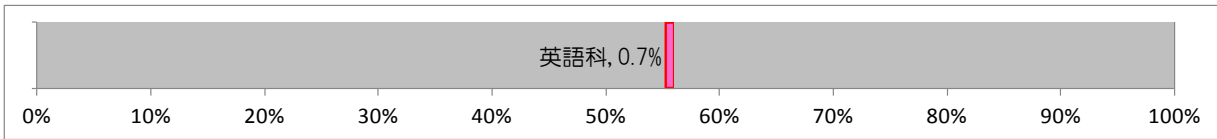
地区	学校名(H26募集人数)
上北	三沢(40)
下北	田名部(40)

ウ 志願・入学状況

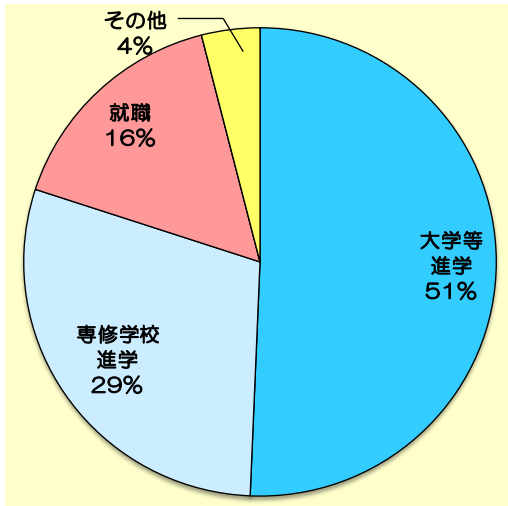


(進路志望状況第一次調査、学校基本調査より)

工 進路状況（平成25年3月卒業生）
〔全日制課程卒業者に占める英語科の割合〕



〔進路状況〕

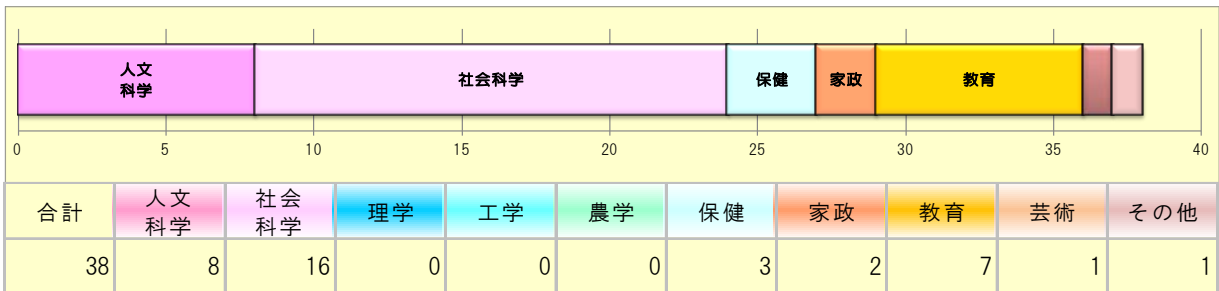


卒業生数	(人)				
	大学等進学	専修学校進学	就職	一時的な仕事	その他
75	38	22	12	0	3

〔学校基本調査及び高等学校等卒業者の進路状況調査より〕

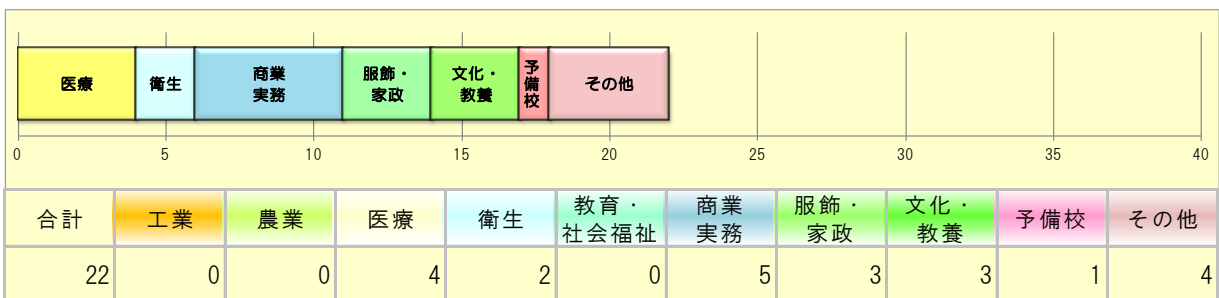
〔大学等進学〕

(人)



〔専修学校進学〕

(人)



〔就職〕

(人)



※進学しかつ就職した者を含む

④外国語科

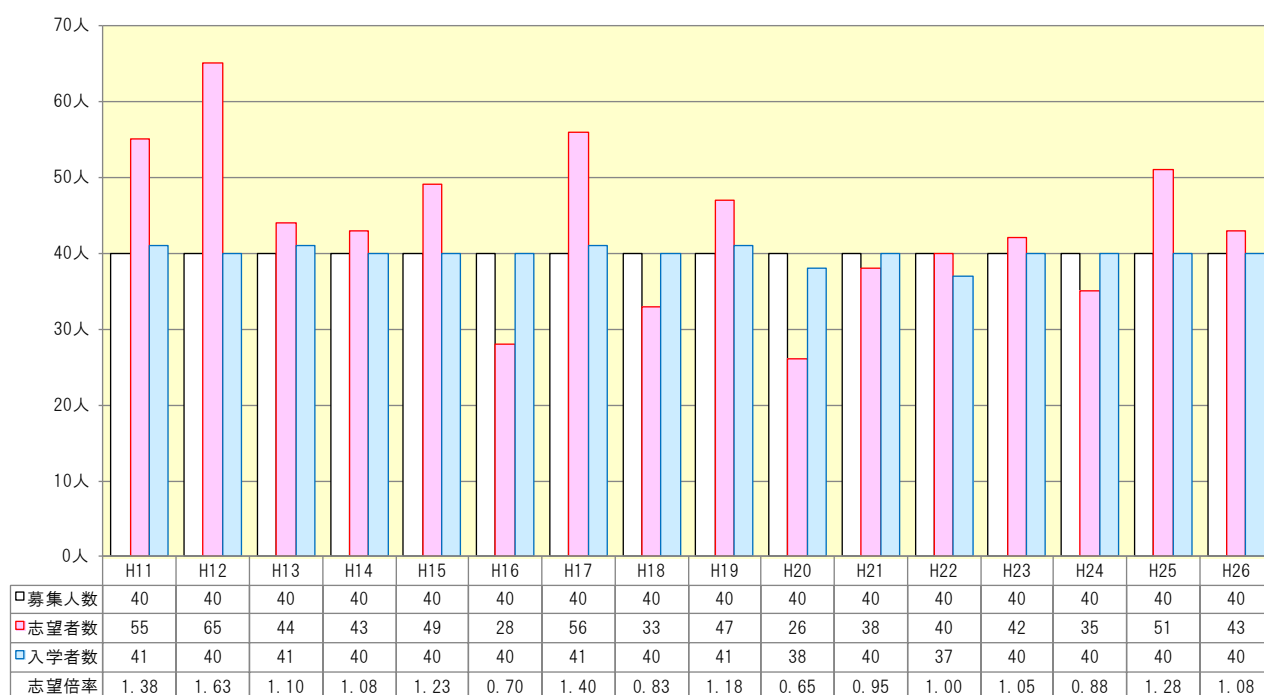
ア 大学科の概要

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養うことを目指す学科。

イ 設置校（平成26年度に生徒を募集した学校：1校）

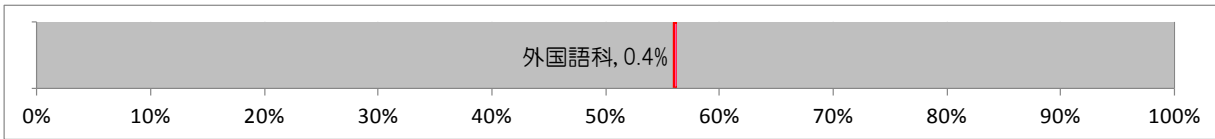
地区	学校名 (H26募集人数)
東青	青森南 (40)

ウ 志願・入学状況

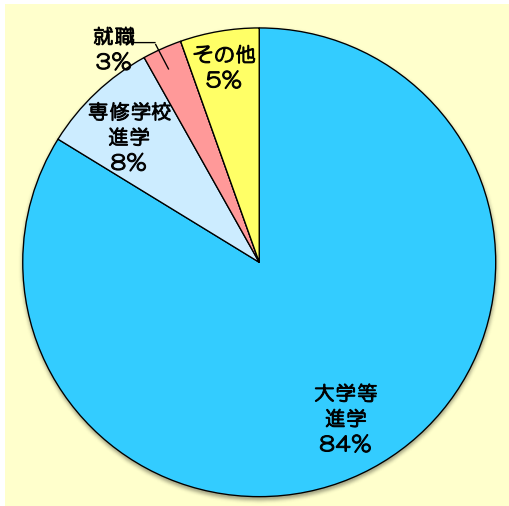


(進路志望状況第一次調査、学校基本調査より)

工 進路状況（平成25年3月卒業者）
〔全日制課程卒業者に占める外国語科の割合〕



〔進路状況〕



(人)

卒業者数	大学等進学	専修学校進学	就職	一時的な仕事	その他
37	31	3	1	0	2

（学校基本調査及び高等学校等卒業者の進路状況調査より）

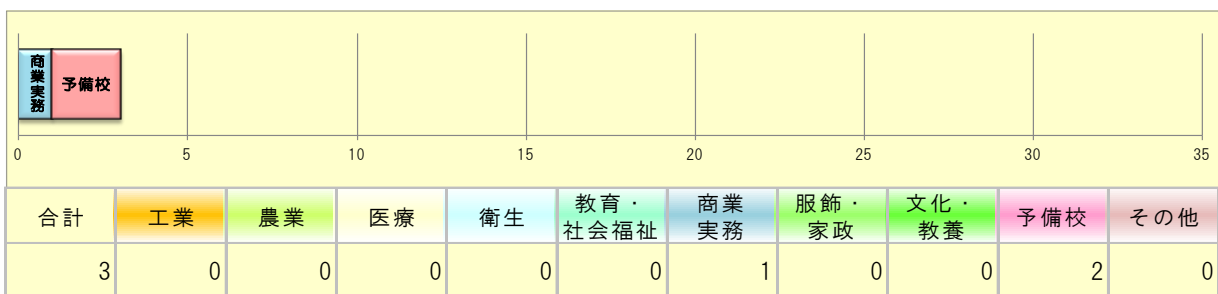
〔大学等進学〕

(人)



〔専修学校進学〕

(人)



〔就職〕

(人)



※進学しかつ就職した者を含む

⑤スポーツ科学科

ア 大学科の概要

心と体を一体としてとらえ、スポーツについての専門的な理解及び高度な技能の習得を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの振興発展に寄与する資質や能力を育て、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てることを目指す学科。

イ 設置校（平成26年度に生徒を募集した学校：3校）

地区	学校名(H26募集人数)
東青	青森北(40)
中南	弘前実業(40)
三八	八戸西(40)

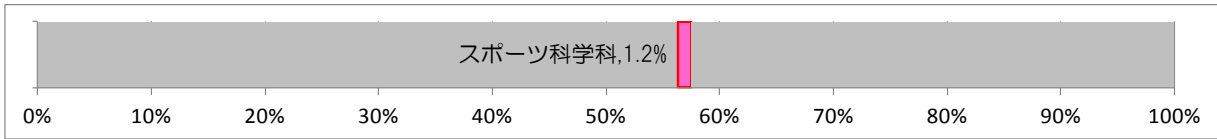
ウ 志願・入学状況



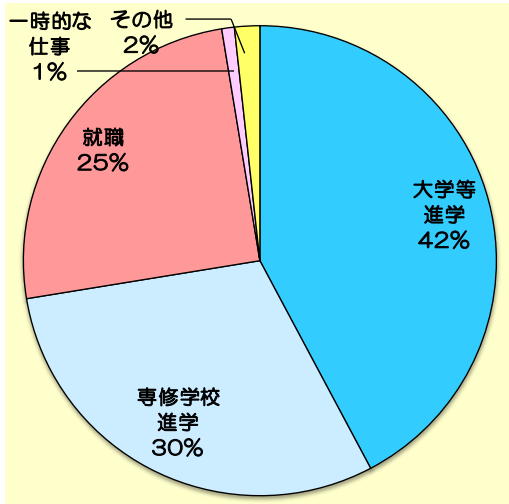
(進路志望状況第一次調査、学校基本調査より)

※平成12年度設置

工 進路状況（平成25年3月卒業者）
〔全日制課程卒業者に占めるスポーツ科学科の割合〕



〔進路状況〕



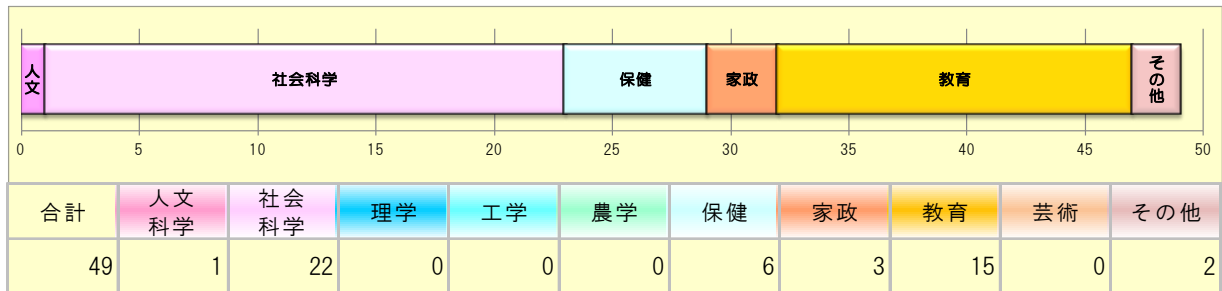
(人)

卒業生数	大学等 進学	専修学校 進学	就職	一時的な 仕事	その他
116	49	35	29	1	2

〔学校基本調査及び高等学校等卒業者の進路状況調査より〕

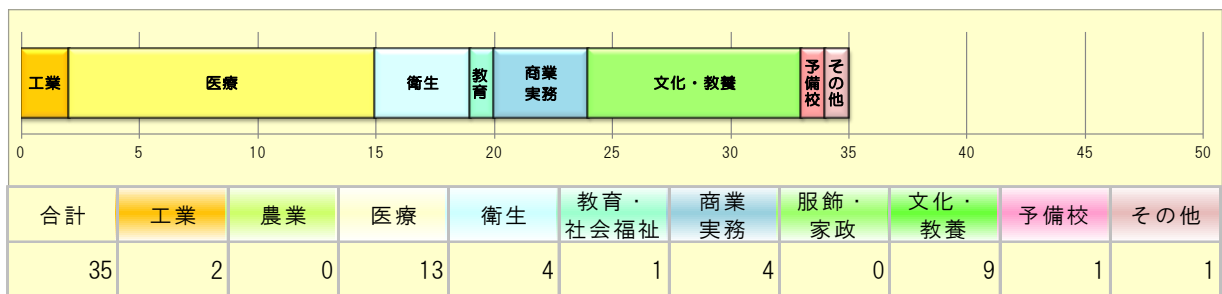
〔大学等進学〕

(人)



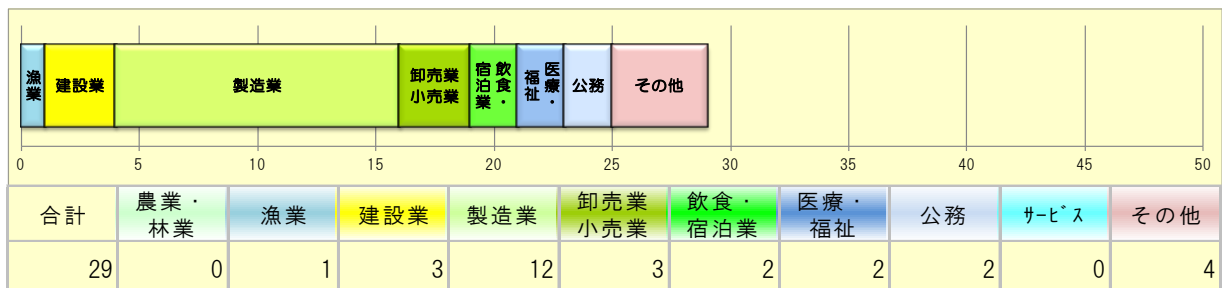
〔専修学校進学〕

(人)



〔就職〕

(人)



※進学しかつ就職した者を含む

⑥表現科

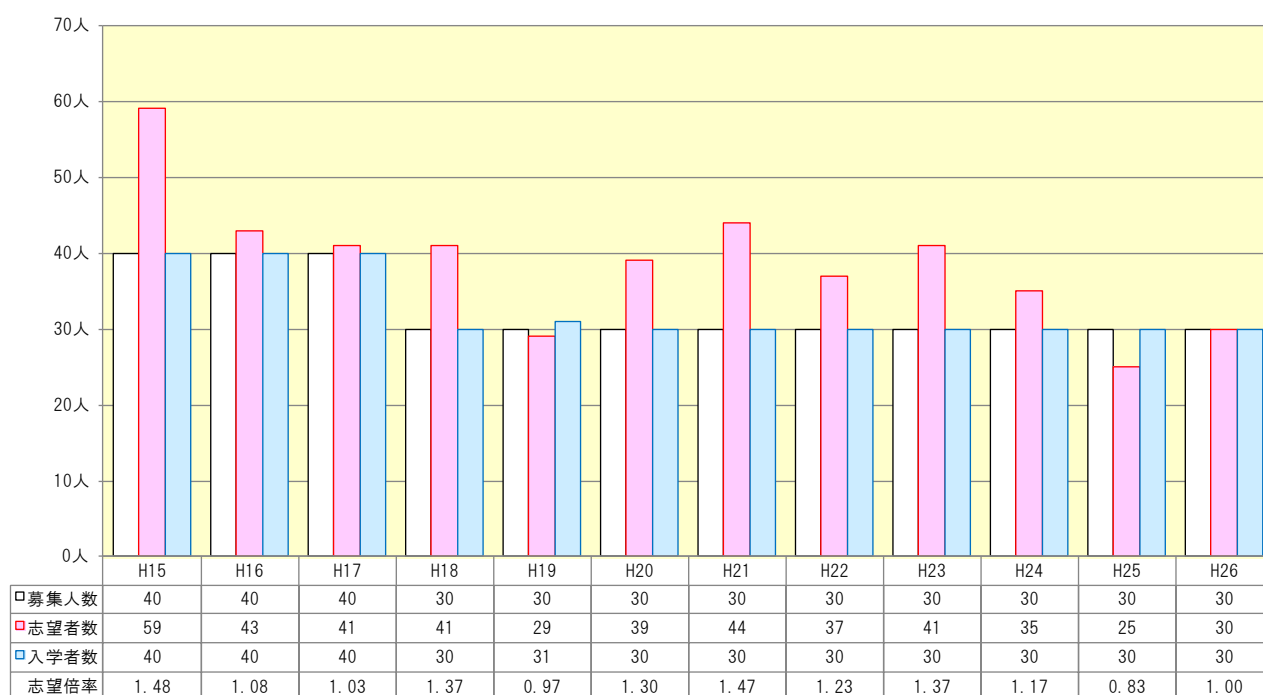
ア 大学科の概要

表現に関する専門的な学習を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養いながら、豊かな情操と創造性を育成することを目指す学科。

イ 設置校（平成26年度に生徒を募集した学校：1校）

地区	学校名 (H26募集人数)
三八	八戸東(30)

ウ 志願・入学状況



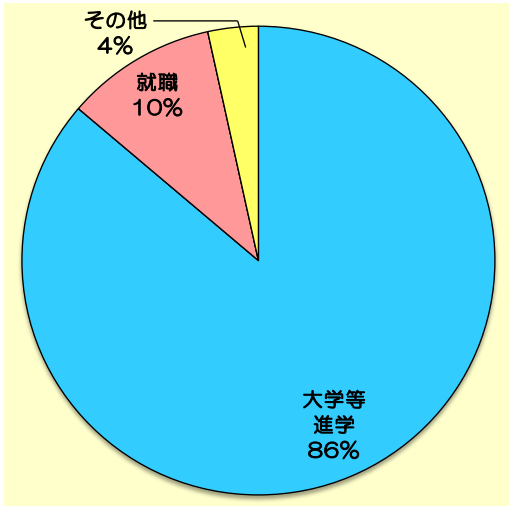
（進路志望状況第一次調査、学校基本調査より）

※平成15年度設置

工 進路状況（平成25年3月卒業生）
〔全日制課程卒業者に占める表現科の割合〕



〔進路状況〕



(人)

卒業生数	大学等進学	専修学校進学	就職	一時的な仕事	その他
29	25	0	3	0	1

〔学校基本調査及び高等学校等卒業生の進路状況調査より〕

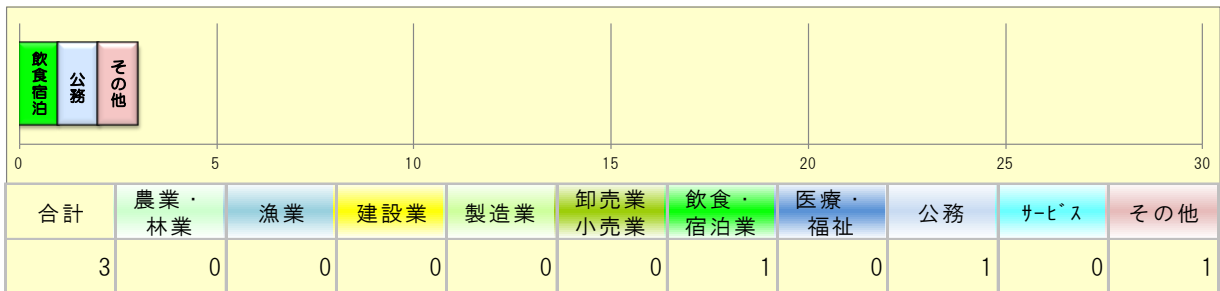
〔大学等進学〕

(人)



〔就職〕

(人)



※進学しかつ就職した者を含む

(2)職業教育を主とする専門学科

①農業科

ア 大学科の概要

農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、農業の社会的な意義や役割について理解させるとともに、農業に関する諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、持続的かつ安定的な農業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てることを目指す学科。

イ 設置校（平成26年度に生徒を募集した学校：6校）

地区	設置校	小学科(H26募集人数)
西北	五所川原農林	生物生産(35)、森林科学(35)、環境土木(35)、食品科学(35)、生活科学(35)
中南	柏木農業	生物生産(35)、環境工学(35)、食品科学(35)、生活科学(35)
	弘前実業	農業経営(40)
	弘実・藤崎	りんご(40)
上北	三本木農業	植物科学(35)、動物科学(35)、農業機械(35)、環境土木(35)、農業経済(35)、生活科学(35)
三八	名久井農業	生物生産(35)、園芸科学(35)、環境システム(35)

ウ 小学科の概要

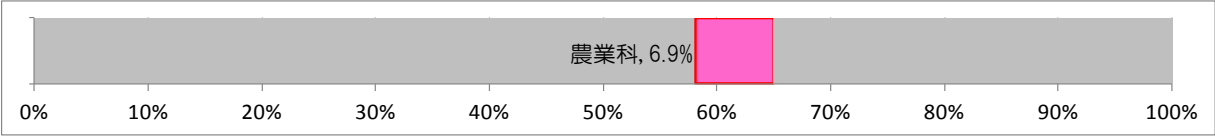
小学科名	学科の概要	学科に関する資格
生物生産	農業生産に関する知識、技術のほか、環境保全型農業や植物バイオテクノロジー等について学習。	初級バイオ技術認定資格等
植物科学	作物生産や植物バイオテクノロジー、施設園芸等について学習。	
園芸科学	果樹・草花等の生産、園芸福祉について学習。	
りんご	りんごを主とした園芸作物の栽培のほか、経営に関する知識、技術について学習。	
森林科学	森林の育成のほか、森林環境保全や林産資源活用について学習。	2級ビオトープ管理士等
動物科学	牛・豚・鶏等の家畜生産や畜産経営、馬や愛玩動物等の管理と活用について学習。	愛玩動物飼養管理士等
農業機械	車両の整備や工作・修理、環境保全型技術について学習。	3級自動車整備士、各種溶接等
環境工学	農業機械や造園のほか、環境保全型農業などについて学習。	ガス溶接、小型車両系建設機械等
環境土木	農業土木のほか、地域環境の創造や保全等について学習。	測量士、トレース技能等
環境システム	都市近郊農業に対応し、施設園芸の生産・経営及び生産設備について学習。	
食品科学	食品の製造・分析・管理及び流通に関する知識、技術について学習。	
農業経営	施設園芸を主に食品流通や情報処理等、農業経営に関わる知識、技術について学習。	
農業経済	簿記や会計などの経営管理、流通システムやマーケティングについて学習。	簿記、情報処理検定等
生活科学	食生活や被服、フラワーアレンジや園芸福祉等のヒューマンサービスに関する知識、技術について学習。	家庭科技術検定等

工 志願・入学状況

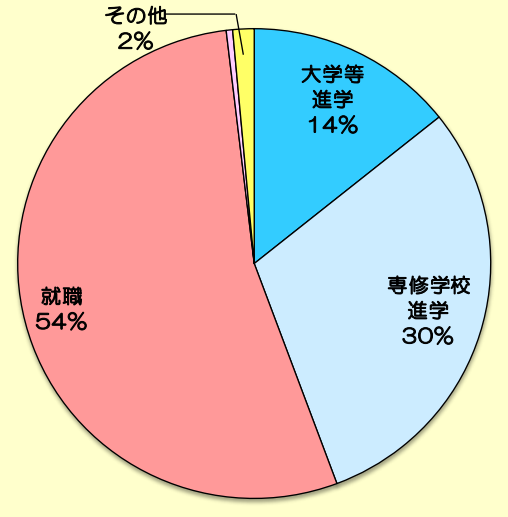


(進路志望状況第一次調査、学校基本調査より)

才 進路状況（平成25年3月卒業生）
〔全日制課程卒業者に占める農業科の割合〕



〔進路状況〕

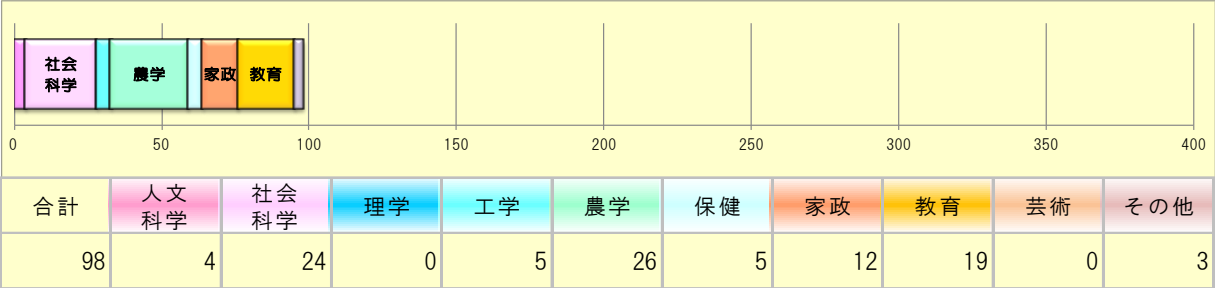


卒業生数	大学等進学	専修学校進学	就職	一時的な仕事	その他
686	98	206	369	3	10

（学校基本調査及び高等学校等卒業生の進路状況調査より）

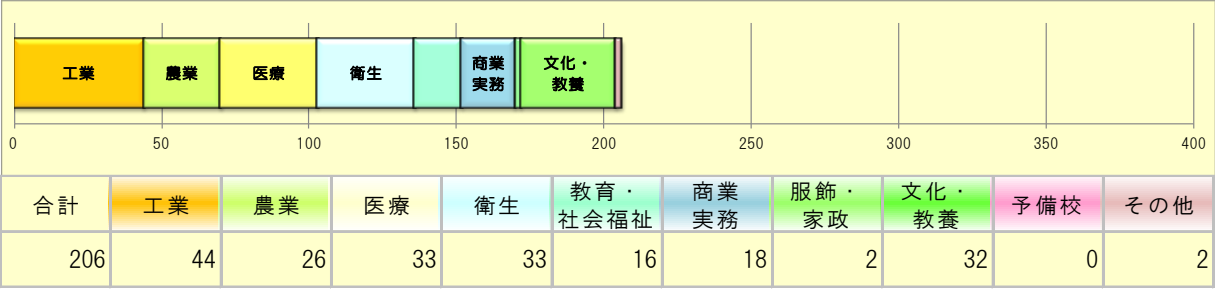
〔大学等進学〕

（人）



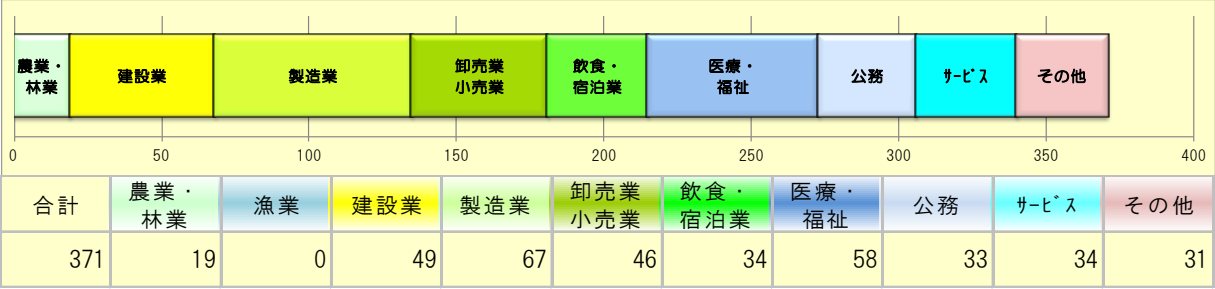
〔専修学校進学〕

（人）



〔就職〕

（人）



※進学しかつ就職した者を含む

②工業科

ア 大学科の概要

工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における工業の意義や役割を理解させるとともに、環境及びエネルギーに配慮しつつ、工業技術の諸問題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、工業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てることを目指す学科。

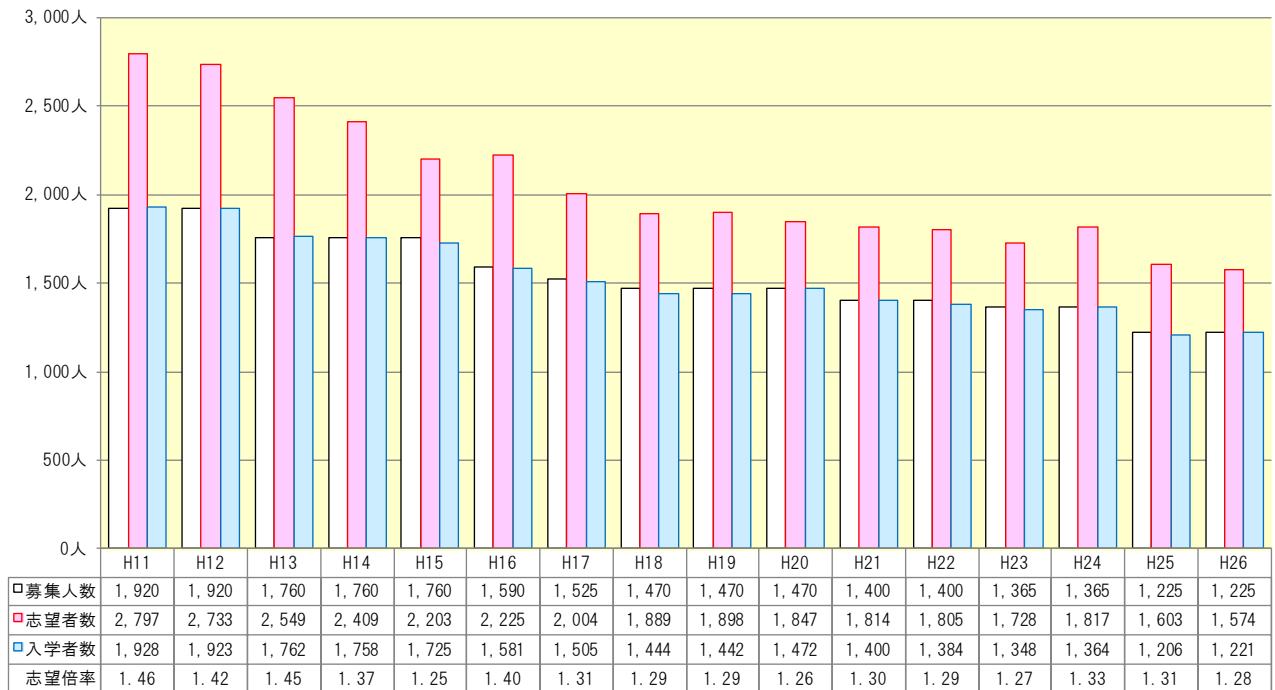
イ 設置校（平成26年度に生徒を募集した学校：6校）

地区	設置校	小学科(H26募集人数)
東青	青森工業	機械(35)、電子機械(35)、電気(35)、電子(35)、情報技術(35)、 建築(35)、都市環境(35)
西北	五所川原工業	機械(35)、電子機械(35)、電気(35)、情報技術(35)
中南	弘前工業	機械(35)、電気(35)、電子(35)、情報技術(35)、土木(35)、建築(35)、 インテリア(35)
上北	十和田工業	機械・エネルギー(35)、電子機械(35)、電気(35)、電子(35)、建築(35)
下北	むつ工業	機械(35)、電子機械(35)、電気(35)、電子(35)、設備・エネルギー(35)
三八	八戸工業	機械(35)、電子機械(35)、電気(35)、電子(35)、情報技術(35)、 土木建築(35)、材料技術(35)

ウ 小学科の概要

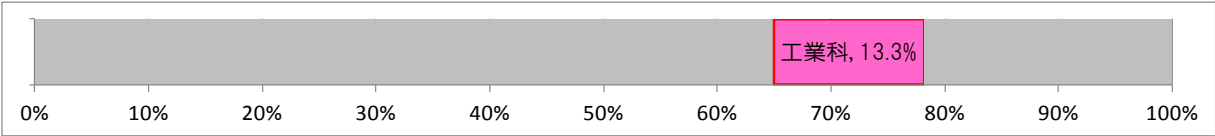
小学科名	学科の概要	学科に係る資格
機械	機械の設計、製作、各種切削加工、溶接、鋳造、組立技術のほか、マシニングセンタ等の自動加工技術について学習。	技能検定(普通旋盤、機械保全) 等
電子機械	機械と電子についての知識、技術のほか、ロボットの操作やコンピュータ制御による工作技術などのメカトロニクスについて学習。	技能検定(普通旋盤、機械保全) 等
電気	発電や送電、電気配線工事に関する知識、技術のほか、発電機や電動機の仕組みなどについて学習。	電気工事士、電気主任技術者 等
電子	電気、電子の知識に基づく回路設計、電子機器の製作技術のほか、情報通信の知識、技術を学習。	工事担当者(DD3種)、技能検定(電子機械組立)等
情報技術	コンピュータの仕組みやプログラミング等の利用、データ通信のほか、マルチメディア、データベースなどの技術革新に対応できる情報処理技術について学習。	基本情報処理技術者、ITパスポート 等
土木	道路、鉄道、上下水道などの社会基盤整備に関する技術のほか、環境保全や測量について学習。	測量士補、2級土木施工管理技士 等
都市環境	土木に関する教育内容のほか、都市環境やエネルギーについて学習。	測量士補、2級土木施工管理技士 等
建築	建築物の設計や建築工事にかかわる知識、技術を学習。	2級建築士、2級建築施工管理技士、福祉住環境コーディネーター 等
土木建築	土木コースと建築コースを設置し、それぞれ土木や建築に関する教育内容を学習。	測量士補、2級土木施工管理技術検定、2級建築士 等
インテリア	デザインの基礎造形・作図法、インテリア施工のための知識、技術のほか、室内設備や家具調度品などのものづくりに必要な製作技術を学習。	レンダリング技能検定、等
機械・エネルギー	機械に関する教育内容のほか、電気自動車や燃料電池、太陽光など環境やエネルギーについて学習。	技能検定(普通旋盤、機械保全) 等
設備・エネルギー	各種設備機器、配管等に関する教育内容のほか、環境やエネルギー全般について学習。	技能検定(建築配管・冷凍空調機器施工)、電気工事士、放射線取扱者 等
材料技術	金属・セラミックス・プラスチック素材の性質、作り方、加工方法の基礎やリサイクル活用、エネルギー資源などを学習。	危険物取扱者 等

工 志願・入学状況

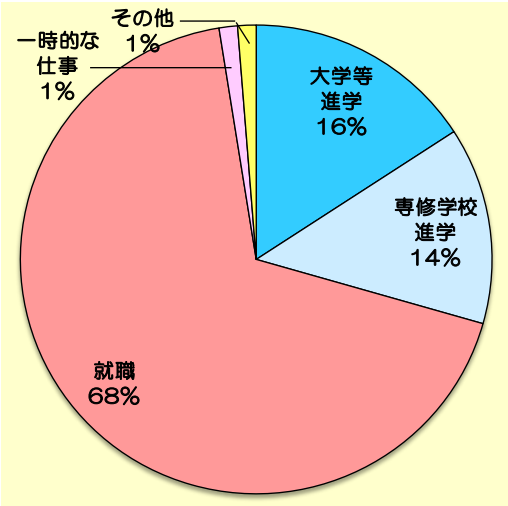


(進路志望状況第一次調査、学校基本調査より)

才 進路状況（平成25年3月卒業生）
〔全日制課程卒業者に占める工業科の割合〕



〔進路状況〕



(人)

卒業生数	大学等進学	専修学校進学	就職	一時的な仕事	その他
1,331	213	183	916	2	17

(学校基本調査及び高等学校等卒業生の進路状況調査より)

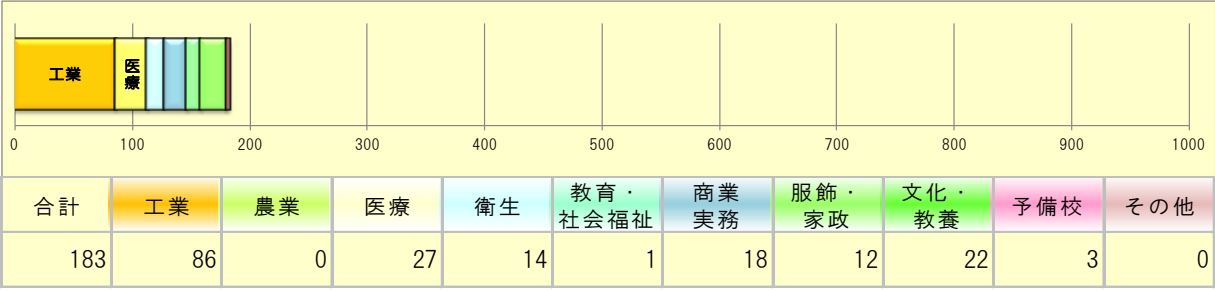
〔大学等進学〕

(人)



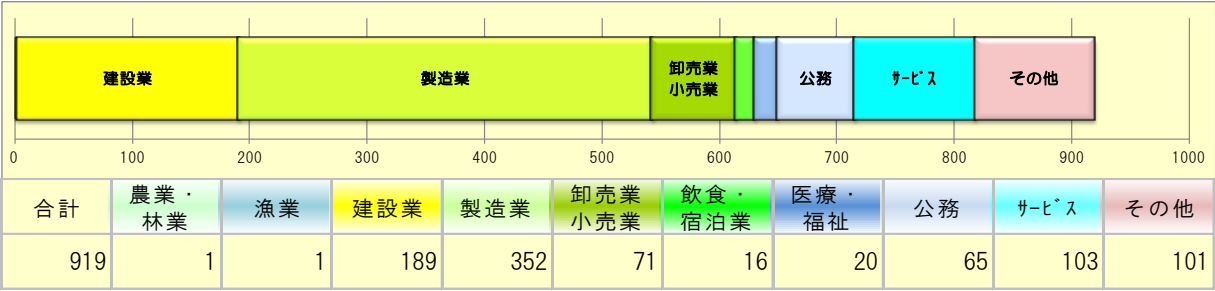
〔専修学校進学〕

(人)



〔就職〕

(人)



※進学しかつ就職した者を含む

③商業科

ア 大学科の概要

商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割を理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てることを目指す学科。

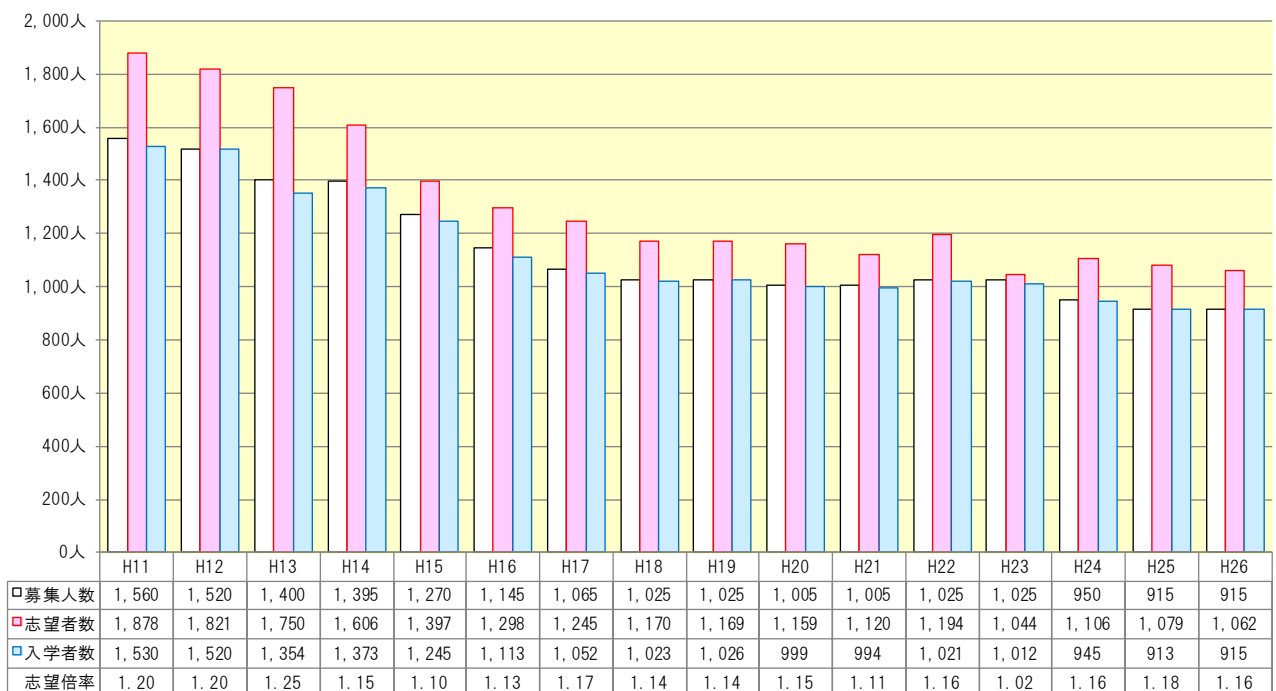
イ 設置校（平成26年度に生徒を募集した学校：6校）

地区	設置校	小学科(H26募集人数)
東青	青森商業	商業(200)、情報処理(40) ※商業科と情報処理科でくり募集
中南	弘前実業	商業(80)、情報処理(40)
	黒石商業	商業(80)、情報処理(40)、情報デザイン(40) ※商業科と情報処理科でくり募集
上北	三沢商業	商業(160)、情報処理(40) ※商業科と情報処理科でくり募集
	十和田西	観光(35)
三八	八戸商業	商業(80)、国際経済(40)、情報処理(40)

ウ 小学科の概要

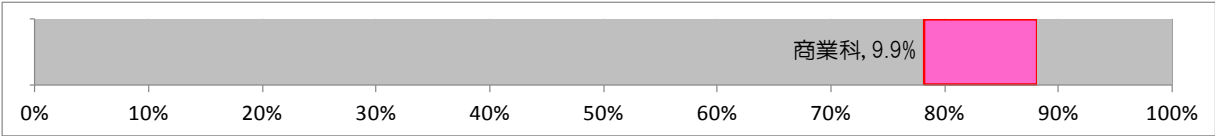
小学科名	学科の概要	学科に関する資格
商業	簿記や情報処理の専門知識を習得し、実社会で役に立つビジネスの仕組みについて学習。	全商簿記実務検定 等
国際経済	国際経営や国際間の経済活動について学習。	実用英語、全商英語、日商簿記 等
情報処理	プログラマーなどのコンピュータ技術者を目指し、コンピュータに関する知識について学習。	情報処理検定、ITパスポート 等
情報デザイン	さまざまなデザインの分野において活躍していける基礎的な知識、技術を習得。	
観光	地元の観光資源を活用した学習を通し、観光ビジネスに関する知識、技術を習得。	

エ 志願・入学状況

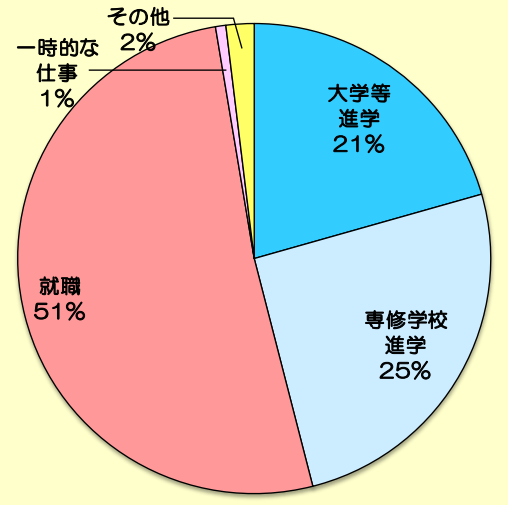


(進路志望状況第一次調査、学校基本調査より)

才 進路状況（平成25年3月卒業生）
〔全日制課程卒業者に占める商業科の割合〕



〔進路状況〕



(人)

卒業生数	大学等進学	専修学校進学	就職	一時的な仕事	その他
991	204	252	509	7	19

(学校基本調査及び高等学校等卒業者の進路状況調査より)

〔大学等進学〕

(人)



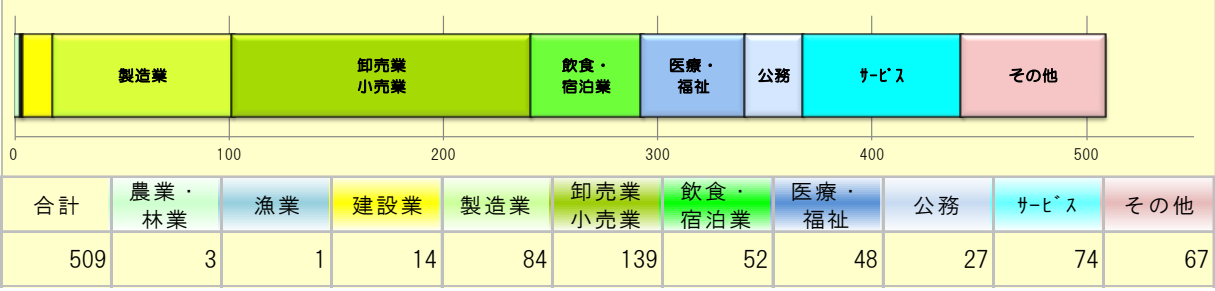
〔専修学校進学〕

(人)



〔就職〕

(人)



※進学しかつ就職した者を含む

④水産科

ア 大学科の概要

水産や海洋の各分野における基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、水産業及び海洋関連産業の意義や役割を理解させるとともに、水産や海洋に関する諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、持続的かつ安定的な水産業及び海洋関連産業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てることを目指す学科。

イ 設置校（平成26年度に生徒を募集した学校：1校）

地区	設置校	小学科(H26募集人数)
三八	八戸水産	海洋生産(35)、水産食品(35)、水産工学(35)、情報通信(35)

ウ 小学科の概要

小学科名	学科の概要	学科に関する資格
海洋生産	漁船・商船の船長となるための知識、技術や漁獲の方法について学習。	5級海技士(航海)筆記認定、第1級小型船舶操縦士 等
水産食品	食品加工品の製造方法の知識、技術、生産者から消費者までの流通機構の仕組みなどについて学習。	第3種冷凍機械責任者、第2級ボイラー技士 等
水産工学	エンジン・電気・冷凍機などの船舶や工場の機関関係、マシンオペレータについて学習。	5級海技士(内燃機関)筆記認定 等
情報通信	水産に関する高度情報化に対応し、コンピュータの活用やネットワークなどの情報通信技術について学習。	第2級海上特殊無線技士、第3級陸上特殊無線技士 等

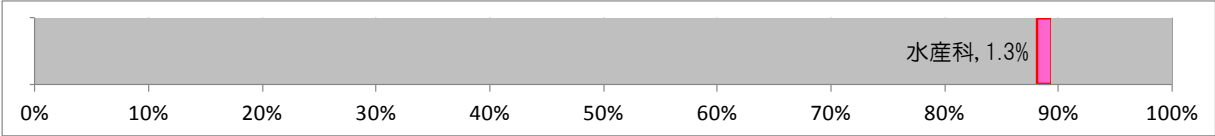
※専攻科（漁業科・機関科）を設置。海技従事者に必要な知識・技術を学び、上級海技士免許取得を目指す。

エ 志願・入学状況

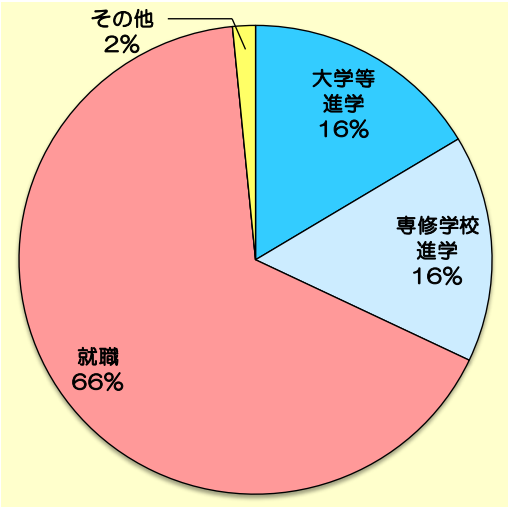


(進路志望状況第一次調査、学校基本調査より)

才 進路状況（平成25年3月卒業生）
〔全日制課程卒業者に占める水産科の割合〕



〔進路状況〕



卒業生数	大学等進学	専修学校進学	就職	一時的な仕事	その他
128	21	20	85	0	2

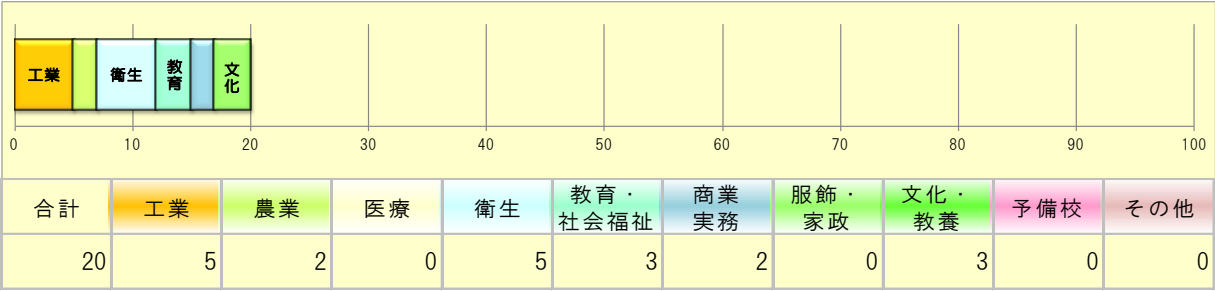
（学校基本調査及び高等学校等卒業生の進路状況調査より）

〔大学等進学〕

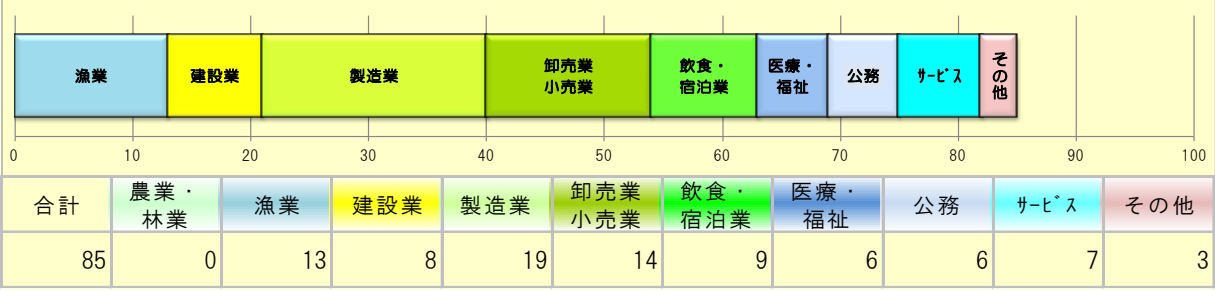


※「その他」は専攻科

〔専修学校進学〕



〔就職〕



※進学しかつ就職した者を含む

⑤家庭科

ア 大学科の概要

家庭の生活にかかわる産業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、生活産業の社会的な意義や役割を理解させるとともに、生活産業を取り巻く諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、生活の質の向上と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てることを目指す学科。

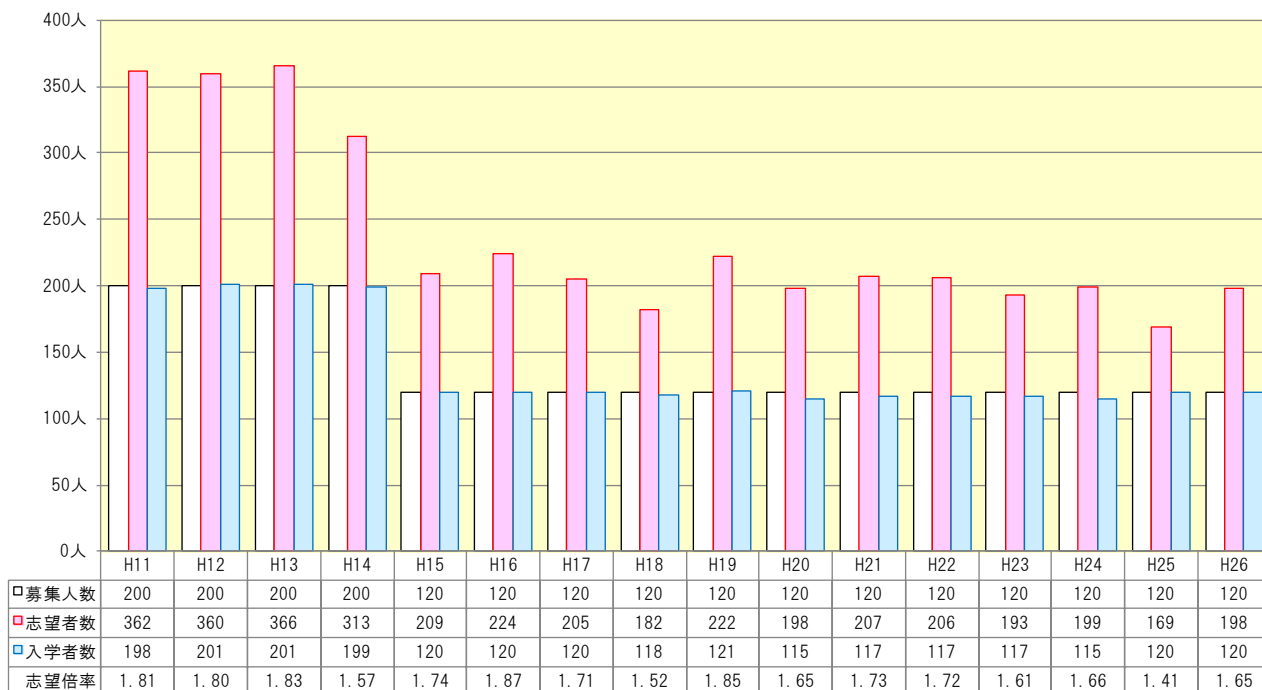
イ 設置校（平成26年度に生徒を募集した学校：2校）

地区	設置校	小学科(H26募集人数)
中南	弘前実業	家庭科学(40)、服飾デザイン(40)
上北	百石	食物調理(40)

ウ 小学科の概要

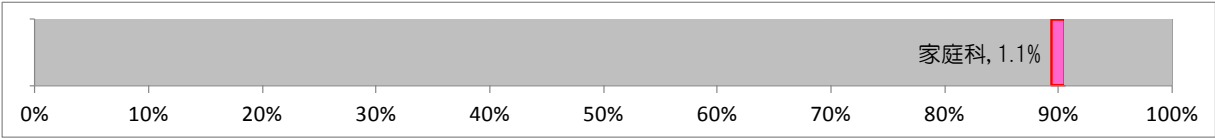
小学科名	学科の概要	学科に関する資格
家庭科学	調理、フードデザイン、食文化、家庭看護、福祉、生活産業情報、保育などについて学習。	家庭科技術検定 等
服飾デザイン	ファッション造形、ファッションデザイン、服飾文化、生活産業情報などについて学習。	家庭科技術検定 等
食物調理	調理師として必要な調理実習、栄養、食品衛生、公衆衛生などについて学習。	調理師免許 等

エ 志願・入学状況

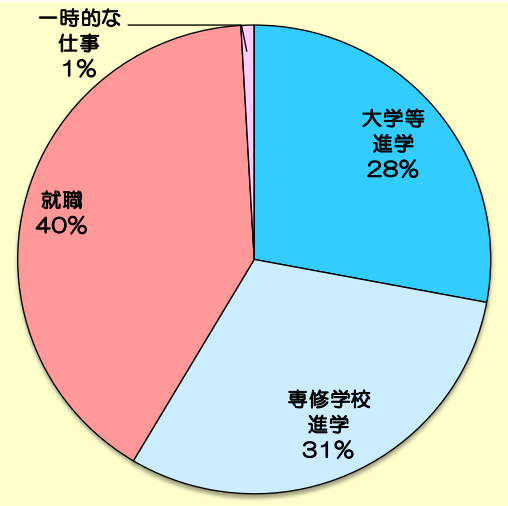


(進路志望状況第一次調査、学校基本調査より)

才 進路状況（平成25年3月卒業生）
〔全日制課程卒業者に占める家庭科の割合〕



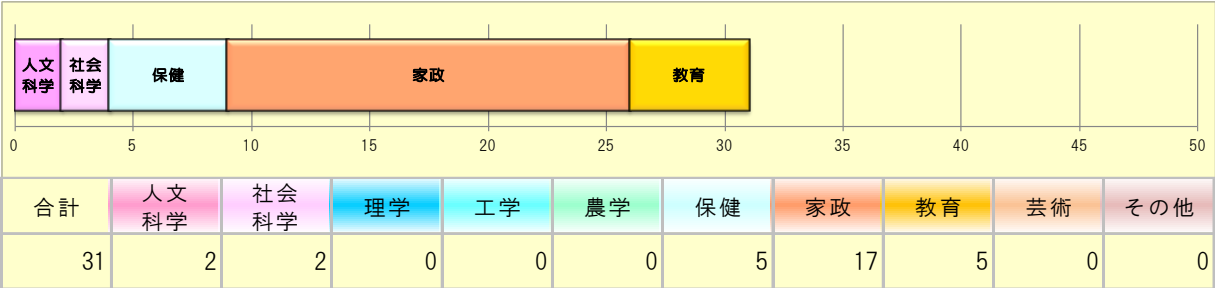
〔進路状況〕



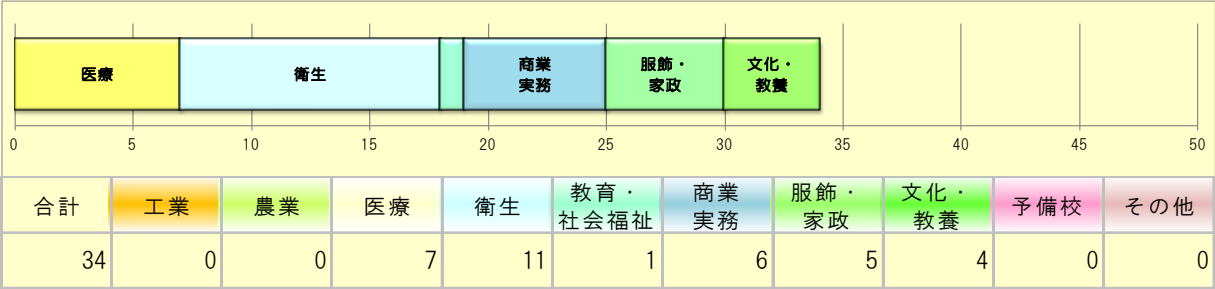
卒業生数	大学等進学	専修学校進学	就職	一時的な仕事	その他
111	31	34	45	1	0

（学校基本調査及び高等学校等卒業生の進路状況調査より）

〔大学等進学〕



〔専修学校進学〕



〔就職〕



※進学しかつ就職した者を含む

⑥看護科

ア 大学科の概要

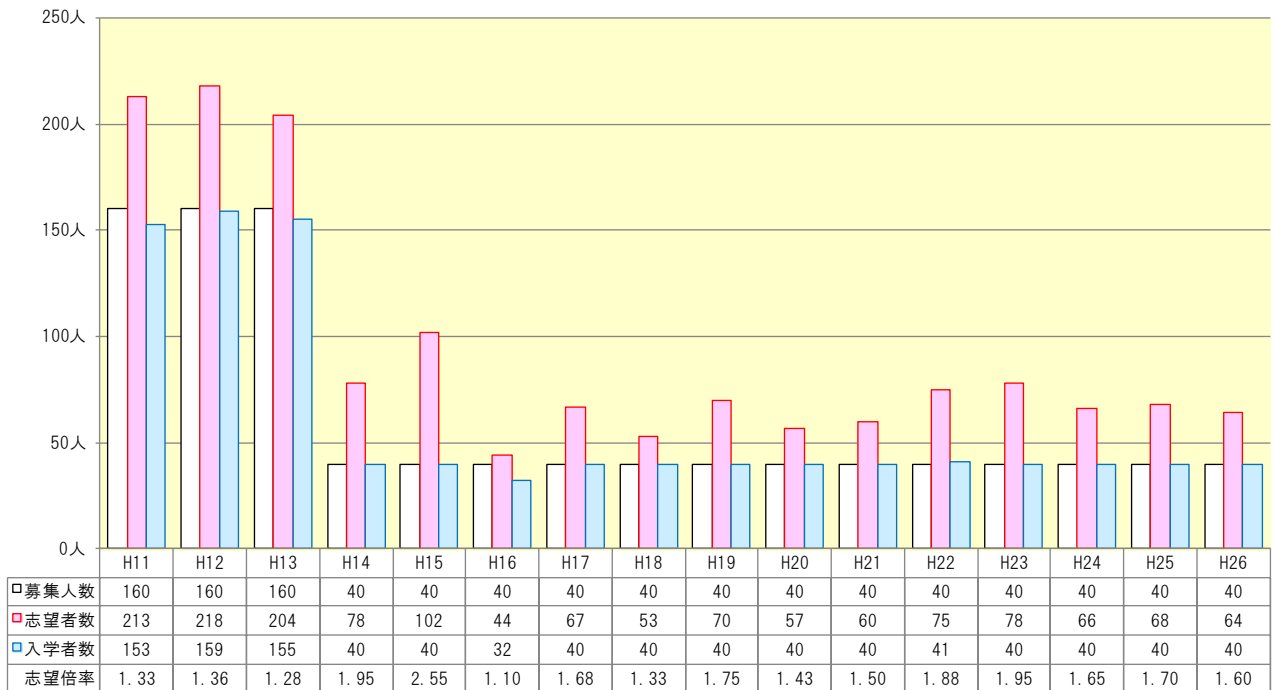
看護に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、看護の本質と社会的な意義を理解させるとともに、国民の健康の保持増進に寄与する能力と態度を育てることを目指す学科。

イ 設置校（平成26年度に生徒を募集した学校：1校）

地区	設置校	小学科(H26募集人数)
中南	黒石	看護(40)

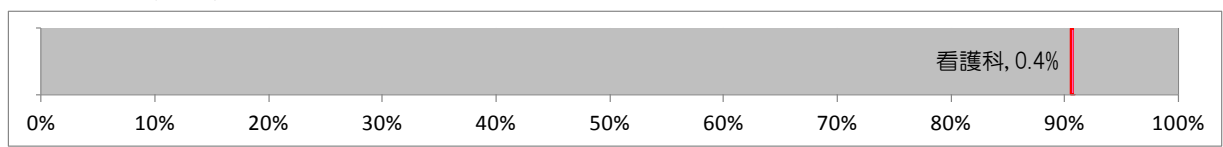
※専攻科を設置。5年一貫教育により、国家試験の受験資格を得ることができる。

ウ 志願・入学状況

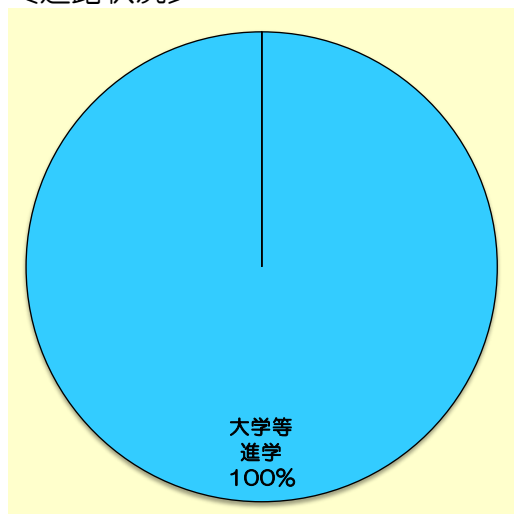


(進路志望状況第一次調査、学校基本調査より)

工 進路状況（平成25年3月卒業生）
〔全日制課程卒業者に占める看護科の割合〕



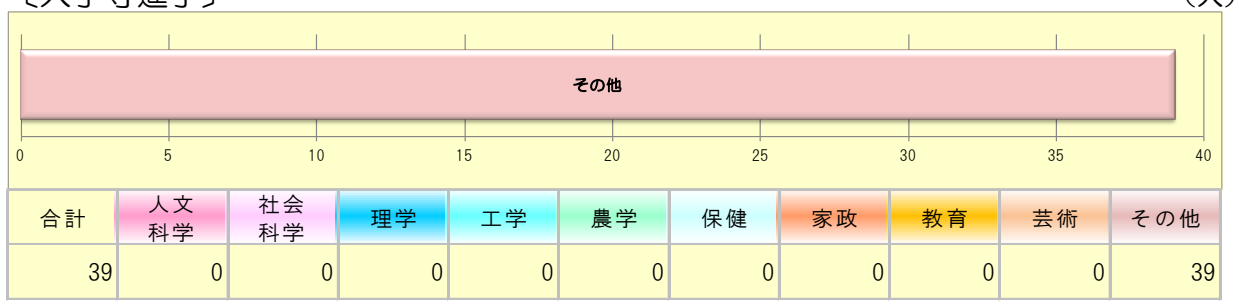
〔進路状況〕



卒業生数	大学等進学	専修学校進学	就職	一時的な仕事	その他
39	39	0	0	0	0

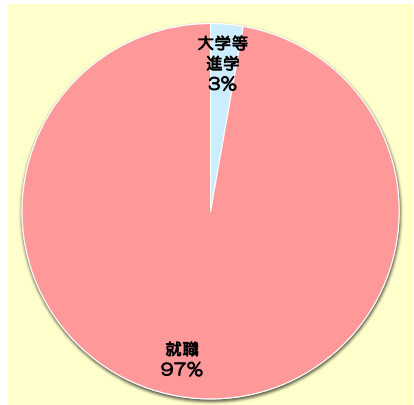
（学校基本調査及び高等学校等卒業生の進路状況調査より）

〔大学等進学〕



※「その他」は専攻科

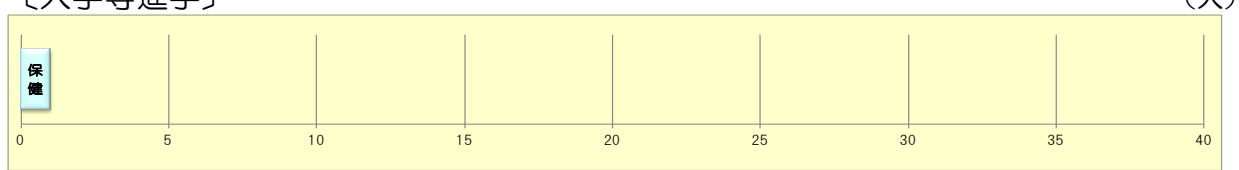
（参考：専攻科卒業生の進路状況）



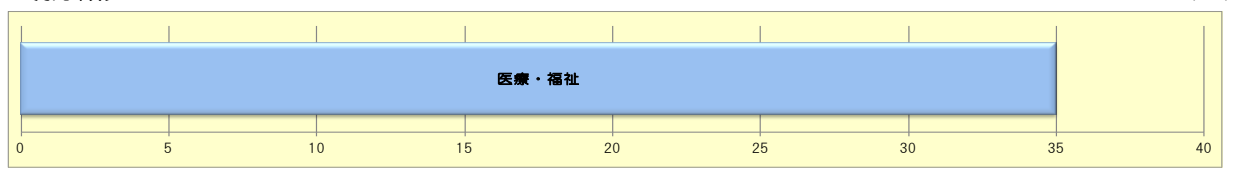
（平成25年3月卒業者）

卒業生数	大学等進学	専修学校進学	就職	一時的な仕事	その他
36	1	0	35	0	0

〔大学等進学〕



〔就職〕



(3) 総合学科

ア 大学科の概要

普通教育を主とする学科である「普通科」、専門教育を主とする学科である「専門学科」に並ぶ学科として制度化。

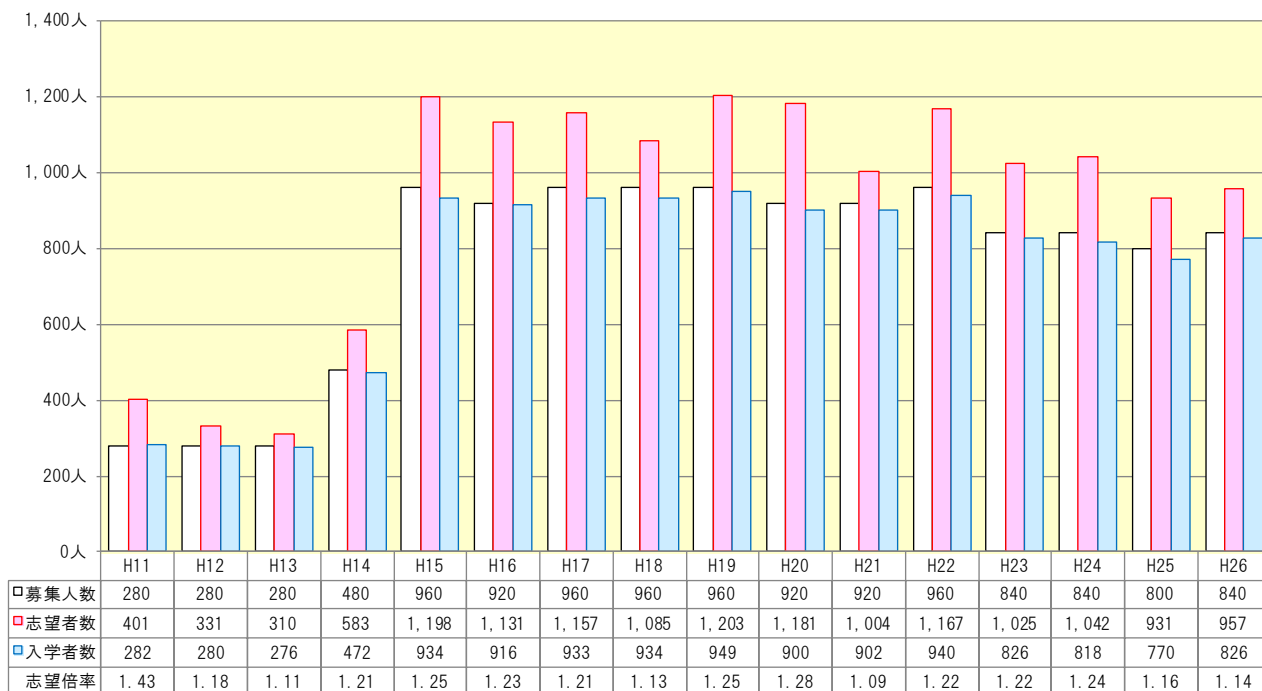
普通教科と専門教科の科目を幅広く開設し、生徒の主体的な選択による学習を通して、将来の生き方や進路に関する自覚を深め、職業観を育成することを旨とする学科。

イ 設置校（平成26年度に生徒を募集した学校：5校）

地区	設置校	系列※（H26募集人数）
東青	青森中央	人文科学、自然科学、生活科学、情報ビジネス、美術 (240)
西北	木造	人文科学、自然科学、流通ビジネス、情報システム (200)
	木造・深浦	人文社会、流通ビジネス (40)
上北	七戸	人文科学、自然科学、情報ビジネス、食品科学、福祉健康 (160)
下北	大湊	人文科学、自然科学、情報ビジネス、健康福祉 (200)

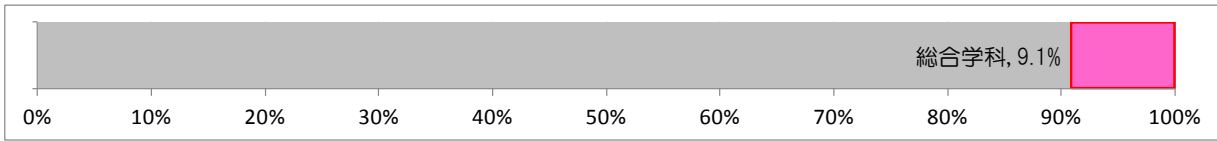
※系列 … 各高校が開設している科目について、生徒の科目選択の参考になるように関連する科目毎にまとめたもの。

ウ 志願・入学状況

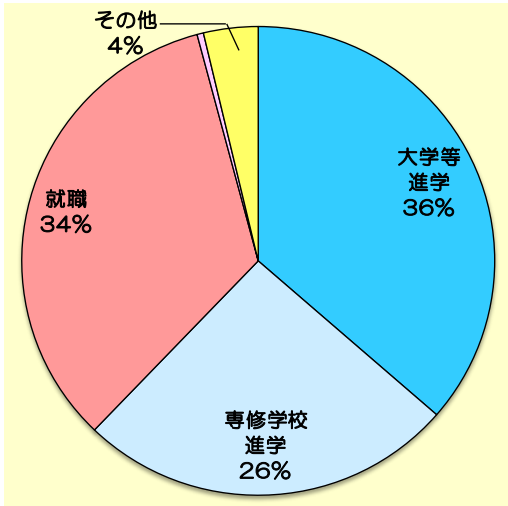


（進路志望状況第一次調査、学校基本調査より）

工 進路状況（平成25年3月卒業生）
〔全日制課程卒業者に占める総合学科の割合〕



〔進路状況〕



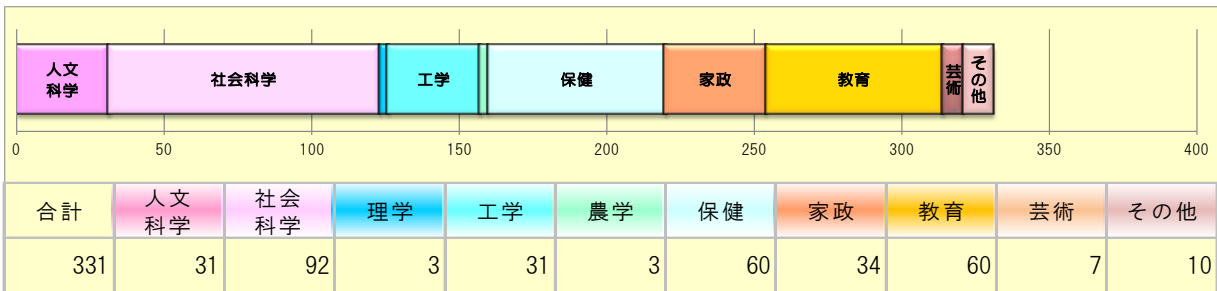
(人)

卒業生数	大学等進学	専修学校進学	就職	一時的な仕事	その他
910	331	235	306	4	34

(学校基本調査及び高等学校等卒業生の進路状況調査より)

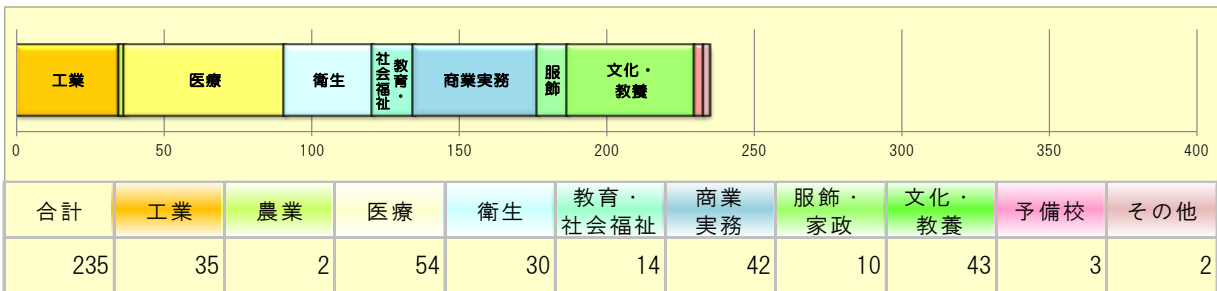
〔大学等進学〕

(人)



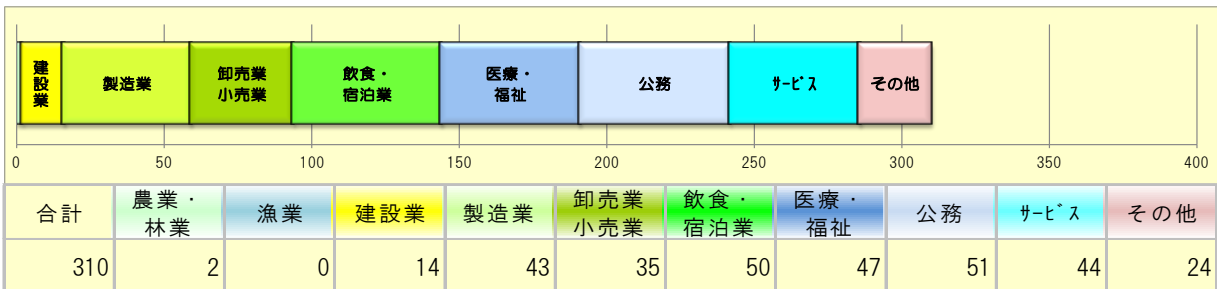
〔専修学校進学〕

(人)



〔就職〕

(人)



※進学しかつ就職した者を含む

2 定時制の課程

ア 概要

中学校を卒業して勤務に従事するなど様々な理由で全日制の高等学校に進学できない青少年に対して高等学校教育を受ける機会を与えるため創設された制度。

近年においては、全日制課程からの転・編入学者や過去に高等学校教育を受けることができなかった者など多様な入学動機や学習歴を持つ生徒が増えてきている。

〔3部制の定時制の課程〕

午前、午後、夜間等の時間帯で授業を行う3つの部で構成される定時制単位制高等学校。生徒はいずれかの部に所属し、4年で卒業することを基本としつつ、仕事の時間や学習スタイルに合わせて、他の部の授業を受けることなどにより3年での卒業も可能となる。

〔夜間の定時制の課程〕

従前からある定時制課程の形態。概ね午後5時過ぎから午後9時頃までに4時間の授業を行い、生徒は4年で卒業することを基本としつつ、定通併修により3年での卒業も可能となる。

※定通併修 … 定時制の課程に在学している生徒が通信制の課程で一部の科目を履修し、修得した単位を卒業に必要な単位に含めることができる制度。

イ 設置校（平成26年度に生徒を募集した学校：9校）

〔3部制の定時制の課程：3校〕

地区	設置校	学科等(H26募集人数)
東青	北斗	普通科：午前部(40)、午後部(40)、夜間部(40)
中南	尾上総合	総合学科：Ⅰ部(40)、Ⅱ部(40)、Ⅲ部(40) ※Ⅰ部とⅡ部を合わせて募集 〔系列：総合人間、環境・情報、地域ビジネス〕
三八	八戸中央	普通科：午前部(40)、午後部(40)、夜間部(40)

〔夜間の定時制の課程：6校〕

地区	設置校	学科等(H26募集人数)
東青	青森工業	工業科：工業技術※(40)
西北	五所川原	普通科(40)
中南	弘前工業	工業科：工業技術※(40)
上北	三沢	普通科(40)
下北	田名部	普通科(40)
三八	八戸工業	工業科：工業技術※(40)

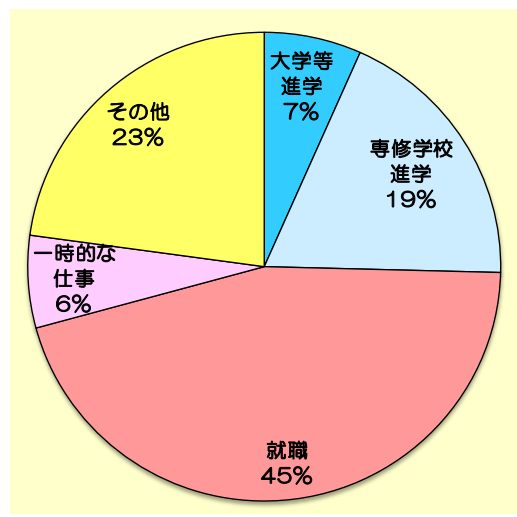
※工業技術科 … 工業に関する基礎的・基本的な知識と技術について学習。

ウ 志願・入学状況



(進路志望状況第一次調査、学校基本調査より)

工 進路状況（平成25年3月卒業生）



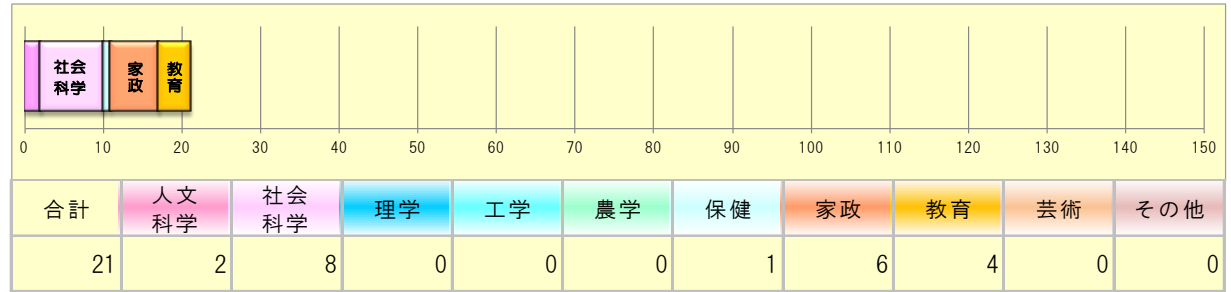
(人)

卒業生数	大学等進学	専修学校進学	就職	一時的な仕事	その他
315	21	59	143	20	72

(学校基本調査及び高等学校等卒業生の進路状況調査より)

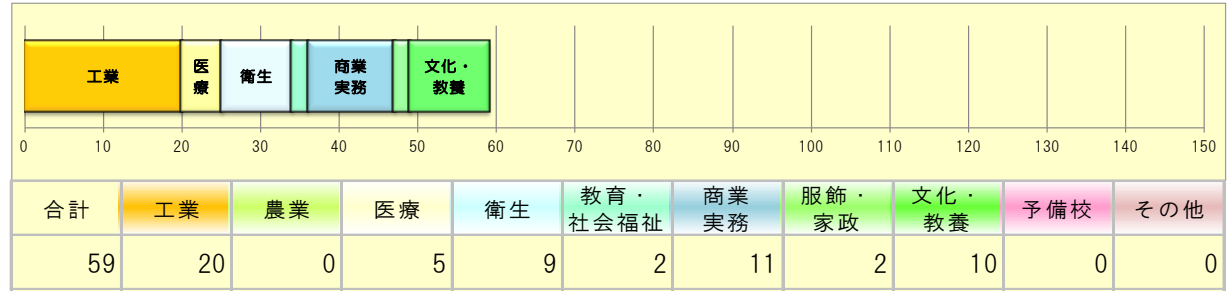
〔大学等進学〕

(人)



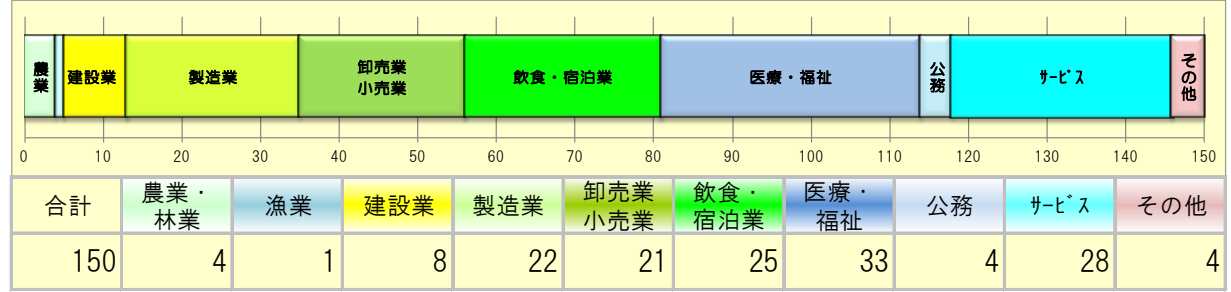
〔専修学校進学〕

(人)



〔就職〕

(人)



※進学しかつ就職した者を含む

3 通信制の課程

ア 概要

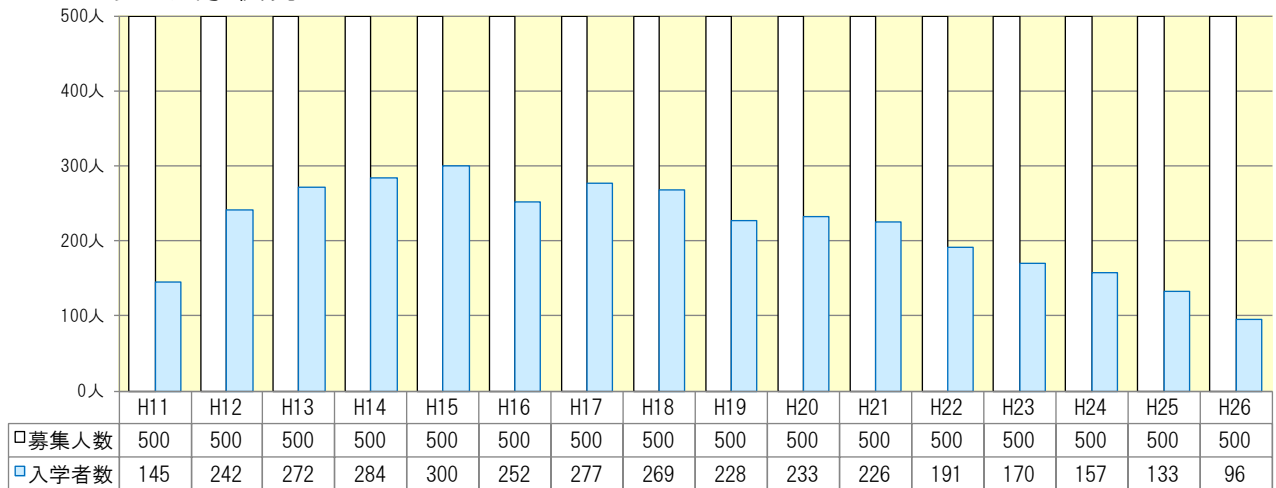
様々な事情により、全日制・定時制の高等学校に通学することができない青少年に対して、通信の方法により高等学校教育を受ける機会を与える制度。

近年においては、全日制課程からの転・編入学者や過去に高等学校教育を受けることができなかった者など多様な入学動機や学習歴を持つ生徒が増え続けている。

イ 設置校（平成26年度に生徒を募集した学校：3校）

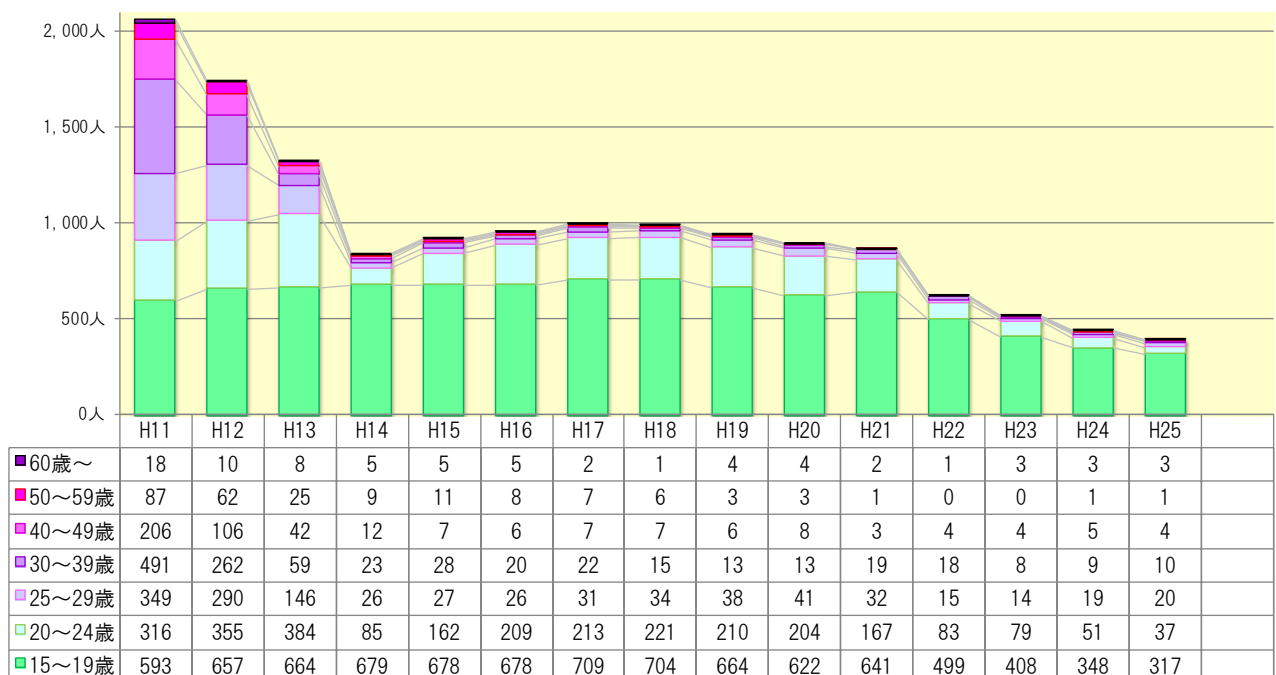
地区	設置校	学科等(H26募集人数)
東青	北斗	普通科 (200)
中南	尾上総合	普通科 (150)
三八	八戸中央	普通科 (150)

ウ 入学状況



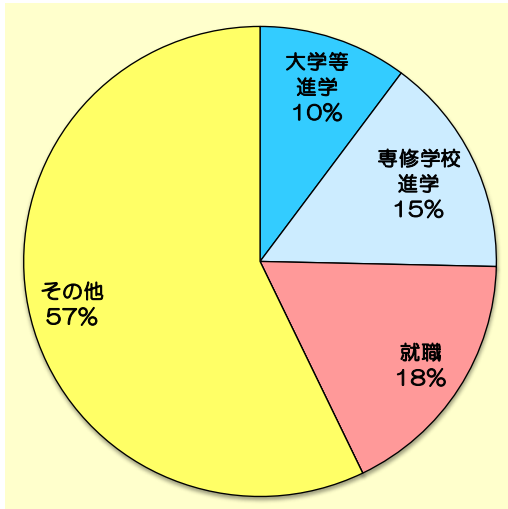
(学校基本調査より)

(参考：年齢別在籍生徒数の推移)



工 進路状況（平成25年3月卒業者。私立を含む。）

（人）



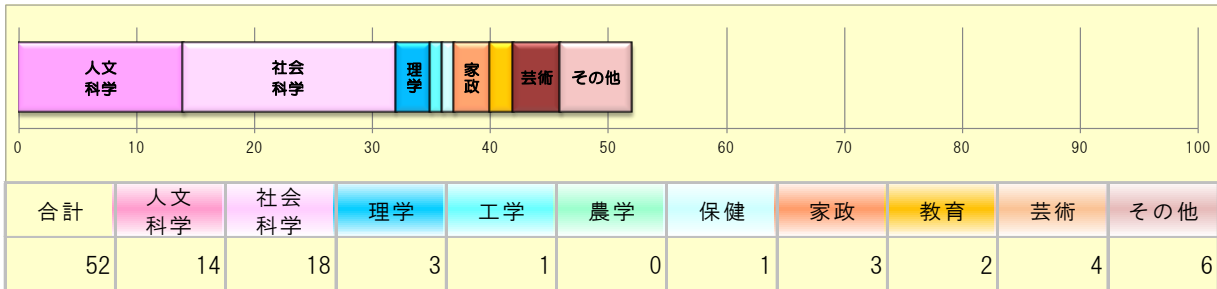
卒業生数	大学等進学	専修学校進学	就職	一時的な仕事	その他
509	52	77	89	0	291

（学校基本調査及び高等学校等卒業者の進路状況調査より）

※「その他」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学等に進学した者、進路が未決定の者等。

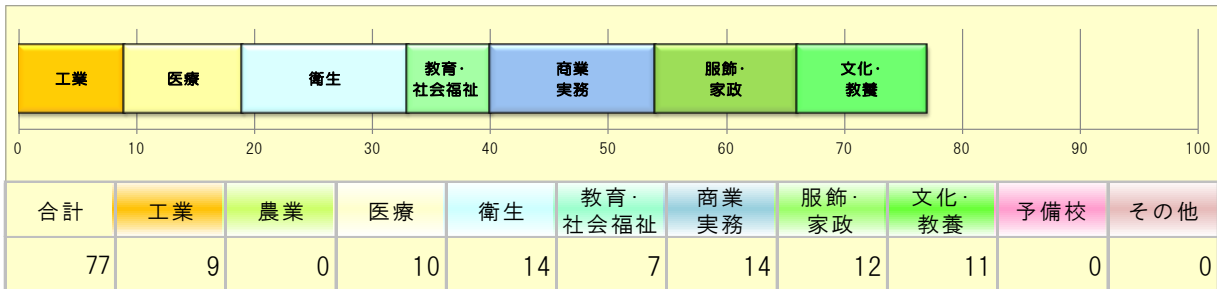
〔大学等進学〕

（人）



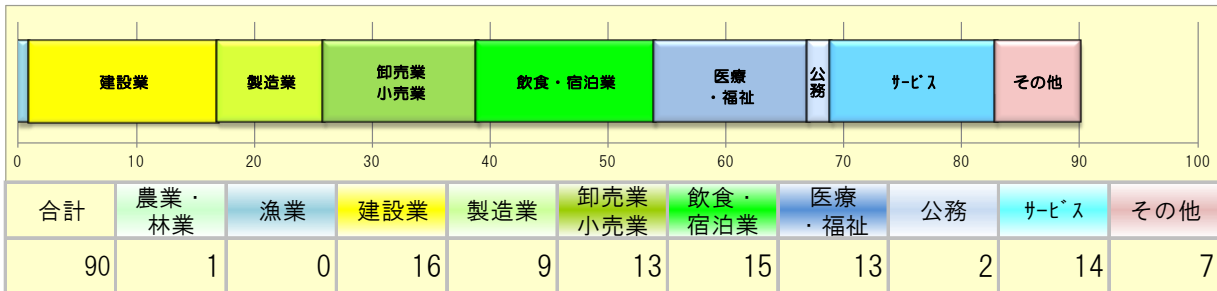
〔専修学校進学〕

（人）



〔就職〕

（人）



Ⅲ 多様な教育制度の現状

1 全日制普通科単位制

ア 概要

全日制普通科において学年による教育課程の区分を設けず、決められた単位を修得すれば、卒業が認められる制度。生徒の選択による主体的な学習を通して、大学進学等の進路希望の達成を図る。

イ 導入校（3校）

地区	導入校	学科等 (H26募集人数)
東青	青森東	普通科 (280)
中南	弘前南	普通科 (240)
三八	八戸北	普通科 (240)

ウ 教育課程の例

(年次ごとに修得する科目の単位数を表したもの。1単位は週1時間。)

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年次	国語総合				世界史A	数学I			数学A	物理基礎	生物基礎	コミュニケーション英語I			英語表現I	体育	保健	音楽I	美術I	書道I	家庭基礎	社会と情報	総合的な学習の時間	ホームルーム活動										
2年次	文型	現代文B	古典B		現代社会	世界史B	地理B	数学II		数学B	地学基礎	化学基礎	コミュニケーション英語II		英語表現II	体育	保健	日本史A		※1	総合的な学習の時間	ホームルーム活動												
	理型	現代文B	古典B	現代社会	地理A	数学II		数学B	化学基礎	化学	生物	物理	コミュニケーション英語II		英語表現II	体育	保健	日本史A		※1	総合的な学習の時間	ホームルーム活動												
3年次	文型	現代文B	探究古典		地理B	政治・経済	倫理	数学II		数学B	化学	生物	地学	コミュニケーション英語III		英語表現II	体育	日本史A		※3	総合的な学習の時間	ホームルーム活動												
	理型	現代文B	古典B	地理B	政治・経済	倫理	数学III		数学B	化学		生物	物理	コミュニケーション英語III		英語表現II	体育	日本史A		※3	総合的な学習の時間	ホームルーム活動												

□ 必修科目 □ 自由選択科目 □ 自由選択科目のうち学校設定科目

※1 探究現代文、探究日本史、探究地理、探究音楽I、探究美術I、探究書道I、英語購読Iの7科目から1科目選択

※2 研究化学、研究生物、研究地学の3科目から2科目選択

※3 探究数学、探究音楽II、探究美術II、探究書道II、英語購読II、倫理、政治・経済の7科目から1科目選択

2 総合選択制

ア 概要

複数の学科を設置し、在籍する学科内の選択科目に留まらず、生徒の興味・関心や進路選択に応じて、他の学科の科目を含め、多様な科目選択を可能とする制度

イ 導入校（1校）

地区	導入校	学科等（H26募集人数）
中南	弘前実業	農業経営科(40)、商業科(80)、情報処理科(40)、家庭科学科(40)、服飾デザイン科(40)、スポーツ科学科(40)

ウ 教育課程の例

（年次ごとに修得する科目の単位数を表したもの。1単位は週1時間。）

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
農業経営科	1年	国語総合	地理A	数学Ⅰ	科学と人間生活	生物基礎	体育	保健	芸術	コミュニケーション英語Ⅰ	家庭基礎	農業と環境		農業情報処理	農業経営	ホームルーム活動														
	2年	国語総合	世界史A	数学Ⅰ	科学基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	課題研究	農業情報処理	野菜	果樹	草花	農業経営	総合選択	ホームルーム活動														
	3年	現代文B	日本史A	現代社会	数学A	生物	保健体育	コミュニケーション英語Ⅱ	化学 水循環	農業情報活用	課題研究	食品流通		総合選択	ホームルーム活動															

農業専門科目

総合選択科目

商業科	1年	国語総合	地理A	数学Ⅰ	科学と人間生活	体育	保健	芸術	コミュニケーション英語Ⅰ	家庭基礎	ビジネス基礎	簿記	情報処理	ホームルーム活動
	2年	国語総合	世界史A	数学Ⅰ	生物基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	課題研究	財務会計Ⅰ	原価計算	ビジネス情報	総合選択	ホームルーム活動
	3年	現代文B	日本史	現代社会	数学A	化学基礎	保健体育	コミュニケーション英語Ⅱ	英語表現Ⅰ 商品開発 財務会計Ⅱ 電子商取引	課題研究	総合実践	経済活動と法	総合選択	ホームルーム活動

商業専門科目

総合選択科目

家庭科学科	1年	国語総合	地理A	数学Ⅰ	科学と人間生活	生物基礎	体育	保健	芸術	コミュニケーション英語Ⅰ	生活デザイン	生活産業基礎	生活産業情報	食文化	ホームルーム活動
	2年	国語総合	世界史A	数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	課題研究	フードデザイン		食文化	総合選択	ホームルーム活動	
	3年	現代文	日本史A	現代社会	数学A	化学 生物	体育	コミュニケーション英語Ⅱ	課題研究	生活と福祉	フードデザイン		総合選択	ホームルーム活動	

家庭専門科目

総合選択科目

スポーツ科学科	1年	国語総合	地理A	数学Ⅰ	科学と人間生活	保健	芸術	コミュニケーション英語Ⅰ	家庭基礎	社会と情報	スポーツ論Ⅰ	スポーツⅡ	スポーツⅢ	スポーツⅣ	スポーツⅤ	スポーツⅥ	スポーツ総合演習	ホームルーム活動
	2年	国語総合	世界史A	数学Ⅰ	生物基礎	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	スポーツ概論	スポーツⅠ	スポーツⅡ	スポーツⅢ	スポーツⅣ	スポーツⅤ	スポーツⅥ	スポーツ総合演習	総合的な学習の時間	総合選択	ホームルーム活動
	3年	現代文	日本史A	現代社会	数学A	生物	コミュニケーション英語Ⅱ	スポーツ概論	スポーツⅠ	スポーツⅡ	スポーツⅢ	スポーツⅣ	スポーツⅤ	スポーツⅥ	スポーツ総合演習	総合的な学習の時間	総合選択	ホームルーム活動

体育専門科目

総合選択科目

※総合選択科目の例

教科	2学年	3学年
農業	生物活用	生物活用
商業	マーケティング、簿記	マーケティング、簿記、ビジネス情報
家庭	被服製作基礎	子どもの発達と保育、家庭の介護と福祉
体育	スポーツトレーニング	スポーツトレーニング
音楽	作曲	
美術	構成	
国語		基本小論文
芸術	書道探究	
英語	中級英語	上級英語Ⅰ

3 中高一貫教育

(1) 併設型中高一貫教育

ア 概要

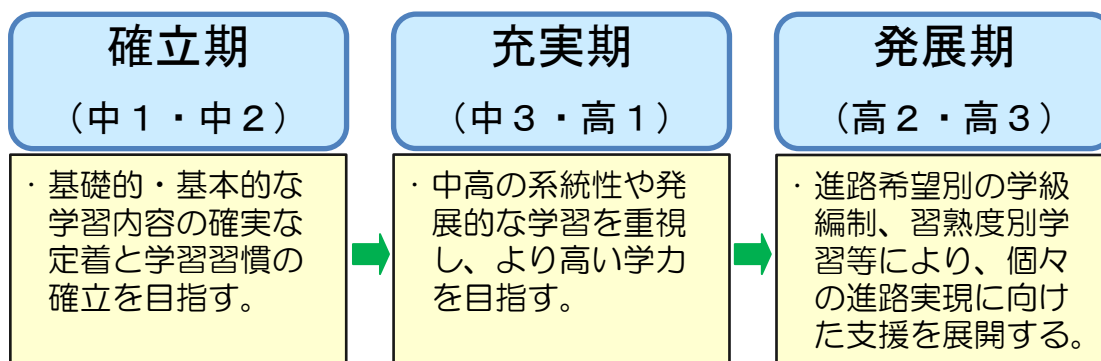
同一の設置者による中学校と高等学校を接続し、6年間の計画的かつ継続的な一貫した教育指導を行うことにより、生徒の資質・能力を最大限に伸ばし、進路希望の達成を目指すことを狙いとする。

イ 導入校

地区	導入校	学科	併設中学校
上北	三本木	普通科	三本木高等学校附属中学校

ウ 主な取組

(ア) 6年間を見通した計画的・継続的な指導

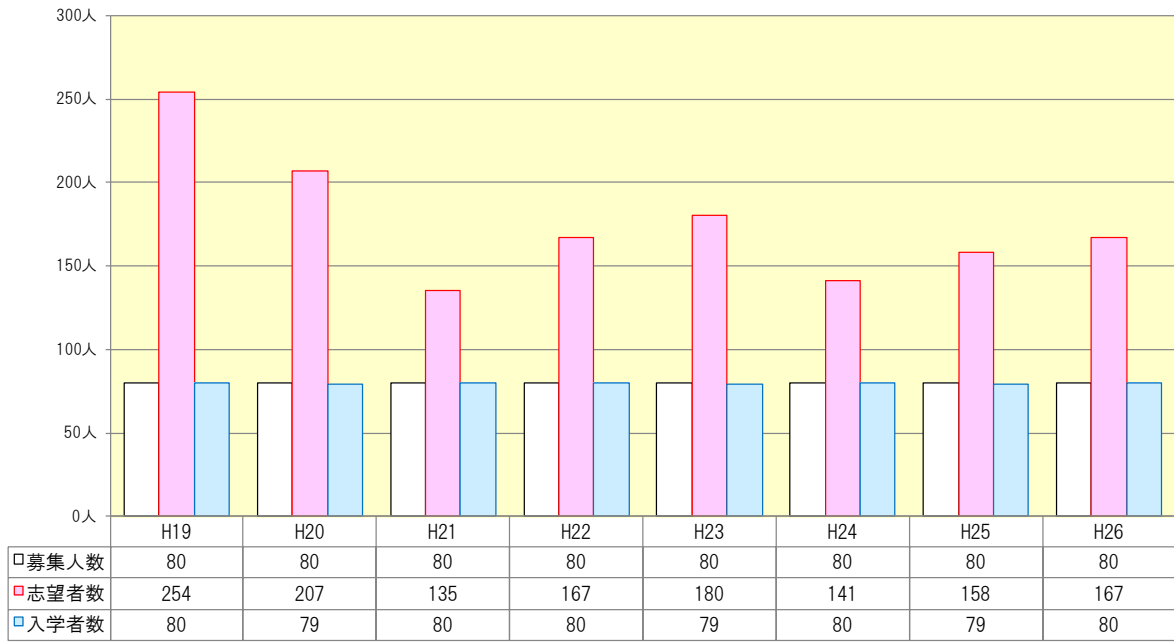


(イ) 特色ある教育活動

- ・ 中高連携によるスーパーサイエンスハイスクール (※)
 (高等学校教員による理科の講座開設、数学の授業実施等)
- ・ 中高教員の相互乗り入れ授業
- ・ 中学生による大学見学
- ・ 中高合同行事の実施 … 進路講演会、学校祭、体育祭、芸術鑑賞教室など
- ・ 部活動の中高合同実施 … 剣道部、空手道部による合同練習と中3 (夏季大会終了後) での高等学校部活動加入

※スーパーサイエンスハイスクール…45頁参照

工 三本木高等学校附属中学校の志願・入学状況



※平成19年度導入

(2) 連携型中高一貫教育

ア 概要

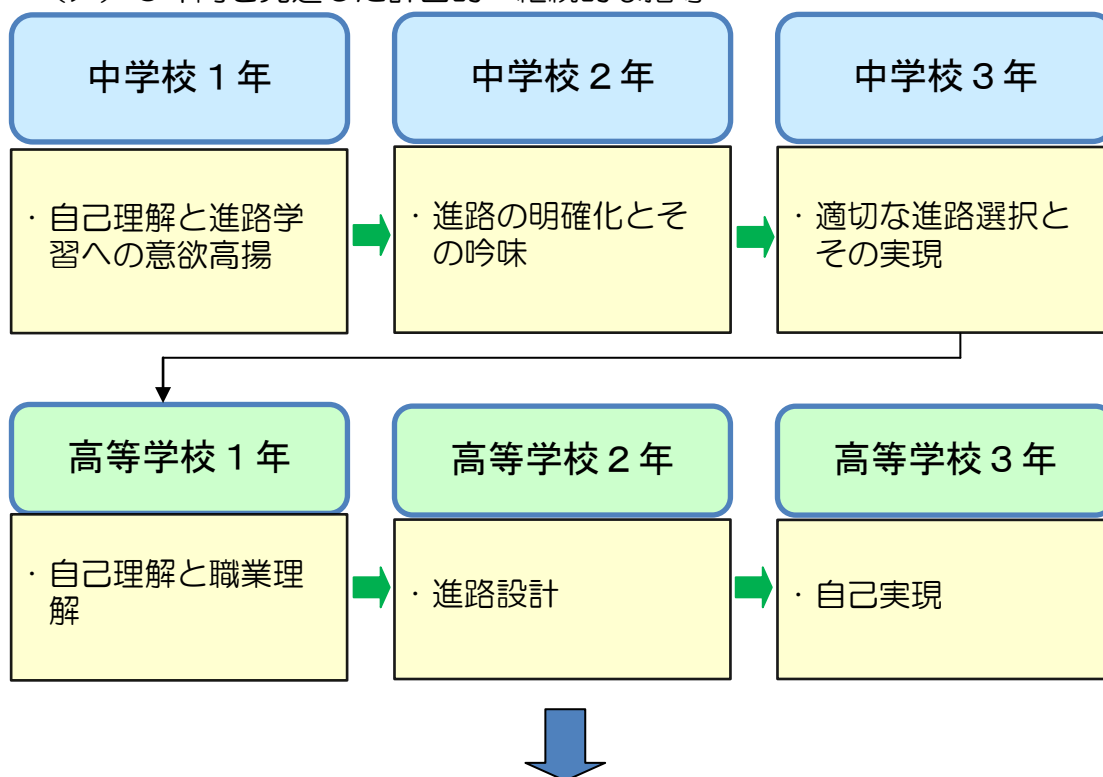
市町村立中学校と県立高等学校が、教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深め、6年間の一貫した教育の中で、特色ある教育活動を幅広く効果的に展開する。

イ 導入校

地区	導入校	学科	連携中学校
三八	田子	普通科	田子町立田子中学校

ウ 主な取組

(ア) 6年間を見通した計画的・継続的な指導

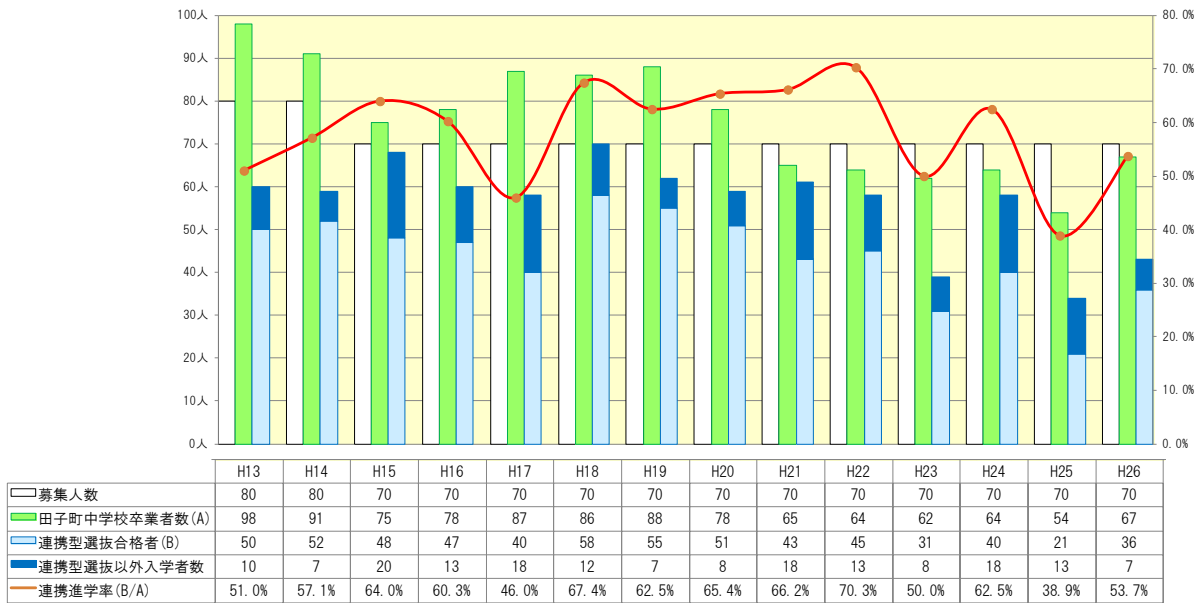


- ・ 郷土を愛する人の育成
- ・ 郷土を拓く創造力の豊かな人の育成
- ・ 豊かな心を持ち、21世紀を逞しく生きる人の育成

(イ) 特色ある教育活動

- ・ 中学校教員による高等学校でのチームティーチング（数学）
- ・ 高等学校教員による中学校でのチームティーチング（数学、英語、体育）
- ・ 高等学校教員による中学生へのカウンセリング指導
- ・ 高校生による中学生への夏休みボランティア学習指導
- ・ 中高合同のスポーツレクリエーション、部活動の合同練習

工 志願・入学状況



(連携型高等学校の前期・後期募集人員公表資料、学校基本調査より)

※平成13年度導入

4 その他特色ある取組

(1) スーパーサイエンスハイスクール（文部科学省事業）

ア 概要

将来の国際的な科学技術関係人材を育成するために、先進的な理数系教育を実施する高等学校等をスーパーサイエンスハイスクール（SSH）として、文部科学省が指定し、学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を支援する事業。

平成14年度から実施し、平成26年度現在、全国で204校を指定（文部科学省HPより）。

イ 本県の指定校及び主な取組

○県立八戸北高等学校（平成17年度～）

- ・ 1年次の全生徒に対して、科学史や科学倫理の講座を通して科学に対する興味・関心を喚起し、科学的素養や態度を育てる。
- ・ SSHクラスの生徒に対しては、大学等との連携により理科・数学等の課題研究を行い、探究心・独創性・創造性・科学的論理的な思考力を高める。

また、英語による実験や科学的英語の授業を通し、英語でのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成する。

- ・ SSHクラスの生徒が、物理や化学の分野の実験を小中学生を対象に行い、その内容をポスターにまとめて発表する「小中高連携ウェルカムラボ」により、小中学生の科学への興味・関心を高めるとともに、SSHクラスの生徒の科学的な探究活動の方法に対する理解を深める。
- ・ 科学に関する研究活動を行っている本県及び岩手県の高校生が一堂に会して研究成果について発表する「地域連携サイエンスセッション」を開催し、互いに刺激し合いながら、研究活動への意欲を高める。

○県立三本木高等学校・附属中学校（平成22年度～）

- ・ 中学校段階から、科学技術系人材を育てるための計画的・継続的な取組を行う。
- ・ 生徒が「三本木夢と生命の森」と名付けた国有林でブナの植樹や植物の成長について研究を行う森林環境学習、下北半島等の野外や大学・研究施設等で行う体験学習を通して、観察力、探究能力、思考力及び創造力等の育成を図る。
- ・ 時事英語等を活用した授業やALT及び外国人研究者による英語での講義、実験・実習を通して、コミュニケーション能力の育成を図る。

また、米軍三沢基地内のエドグレンハイスクール等との研究交流やシンガポール大学等での海外研修により、国際理解を図り、国際的素養を育成する。

(2) スーパーグローバルハイスクール（文部科学省事業）

ア 概要

急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、社会課題に対する関心と深い教養に加え、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成することを目的に、大学、企業、国際機関等と連携を図り、グローバルな社会課題を発見・解決できる人材や、グローバルなビジネスで活躍できる人材の育成に取り組む高等学校等をスーパーグローバルハイスクール（SGH）として、文部科学省が指定し、質の高いカリキュラムの開発・実践やその体制整備を進める事業。

平成26年度から実施し、現在、全国で56校を指定（文部科学省HPより）。

イ 本県の指定校及び主な取組（予定）

○県立青森高等学校（平成26年度～）

- ・ 本県の全方位的な海上アプローチの良さと物流拠点としてのポテンシャルという大きな強みを生かした青森県ロジスティックス（※）戦略を視野に入れ、青森県の農林水産物・伝統工芸品などの世界各国への販路拡大、青森県への観光客誘致等を探究型学習の課題とする。
- ・ 「多様性の理解に基づき課題を設定する力」「グローバルマインドに基づく企画力」「ビジネスモデルの開発による理論と実践を融合する力」の3つの力の育成を目標とした教育プログラムを開発する。
- ・ 青森中央学院大学の東南アジアからの留学生やニュージーランド・ローズヒルカレッジ高等学校、アメリカ・メイン州ホールデール高等学校との協同学習やディスカッション等を通じて、異文化の中でのチームワークや相互尊重の態度を培う。

※ロジスティックス…原材料の調達、生産、保管、販売、情報などの全体的な流れを統合的なシステムとして動かすこと。

IV これまでの高等学校教育改革の検証方法

県立高等学校の将来構想の検討に当たって、次の4つの調査等により、これまでの高等学校教育改革の取組について検証等を行う。

1 高等学校教育に関する意識調査

〔目的〕

中学生や高校生、保護者、教員等の意識調査を実施し、今後の高等学校教育の在り方について検討するための資料を得る。

〔時期〕

平成26年8～9月

〔対象〕

・中学校2年生	(1,000人)	・小・中保護者	(1,500人)
・高等学校2年生	(1,000人)	・高等学校保護者	(1,000人)
・小・中学校教員	(300人)	・高等学校教員	(150人)
・大学教員	(150人)	・市町村教育委員会	(81人)
・企業	(500人)		計 5,681人

〔概要〕

- ・高等学校での生活、高等学校卒業後の進路等について
- ・高等学校での学習等について
- ・新しいタイプの高等学校の必要性、統合に対する考え方等について

2 多様な教育制度等に対するアンケート調査

〔目的〕

これまでの高等学校教育改革で取り組んできた多様な制度等に関する生徒の理解度、関連情報の入手方法、入学後の満足度等について、生徒を対象としたアンケート調査を実施し、今後の高等学校教育の在り方について検討するための資料を得る。

〔時期〕

平成26年7月

〔対象〕

以下の制度を導入している高等学校の3学年(3年次)生徒。

ただし、尾上総合高等学校は2年次生徒が対象。

・総合学科	(801人)	
・全日制普通科単位制	(753人)	
・連携型中高一貫教育	(36人)	
・併設型中高一貫教育	(80人)	
・3部制の定時制の課程	(211人)	※尾上総合高等学校を含む
・総合選択制	(319人)	計 2,200人

〔概要〕

- ・当該制度の高等学校に進学した理由
- ・当該制度に満足している点、不満な点
- ・当該制度の高等学校で学ぶことの満足度

3 県高等学校長協会への意見照会

〔目的〕

県高等学校長協会及び各部会に対し、学校・学科の在り方及び高等学校の規模・配置に関し、これまでの取組及び今後の方向性について意見を伺い、今後の高等学校教育の在り方について検討するための資料を得る。

〔時期〕

平成26年7月～平成27年2月

〔対象〕

- ・県高等学校長協会
- ・各部会（普通、農業、工業、商業、水産、家庭、看護、理数、英語、体育、総合学科、定通）

〔概要〕

- ・社会の変化や多様な進路志望に対応した学校・学科の在り方に関する成果、課題、今後の方向性
- ・夢や志の実現に向けた教育活動に必要な高等学校の規模・配置に関する成果、課題、今後の方向性
- ・各地区の今後の学校配置等において留意すべき点について

4 県小学校長会及び県中学校長会への意見照会

〔目的〕

県小学校長会及び県中学校長会に対し、学校・学科の在り方、校種間の連携等に関し、これまでの取組及び今後の方向性について意見を伺い、今後の高等学校教育の在り方について検討するための資料を得る。

〔時期〕

平成26年7月～8月

〔対象〕

- ・県小学校長会
- ・県中学校長会

〔概要〕

- ・今後の高等学校教育に関する意見、要望等
- ・校種間の連携に関する意見、要望等

5 学校視察

〔目的〕

学科の種別、学校の特徴、地域バランス等を考慮して学校視察を実施し、県立高等学校の現状を把握し、今後の高等学校教育の在り方についての検討に資する。

〔時期〕

平成26年8月～平成26年11月

〔実施校選定の視点〕

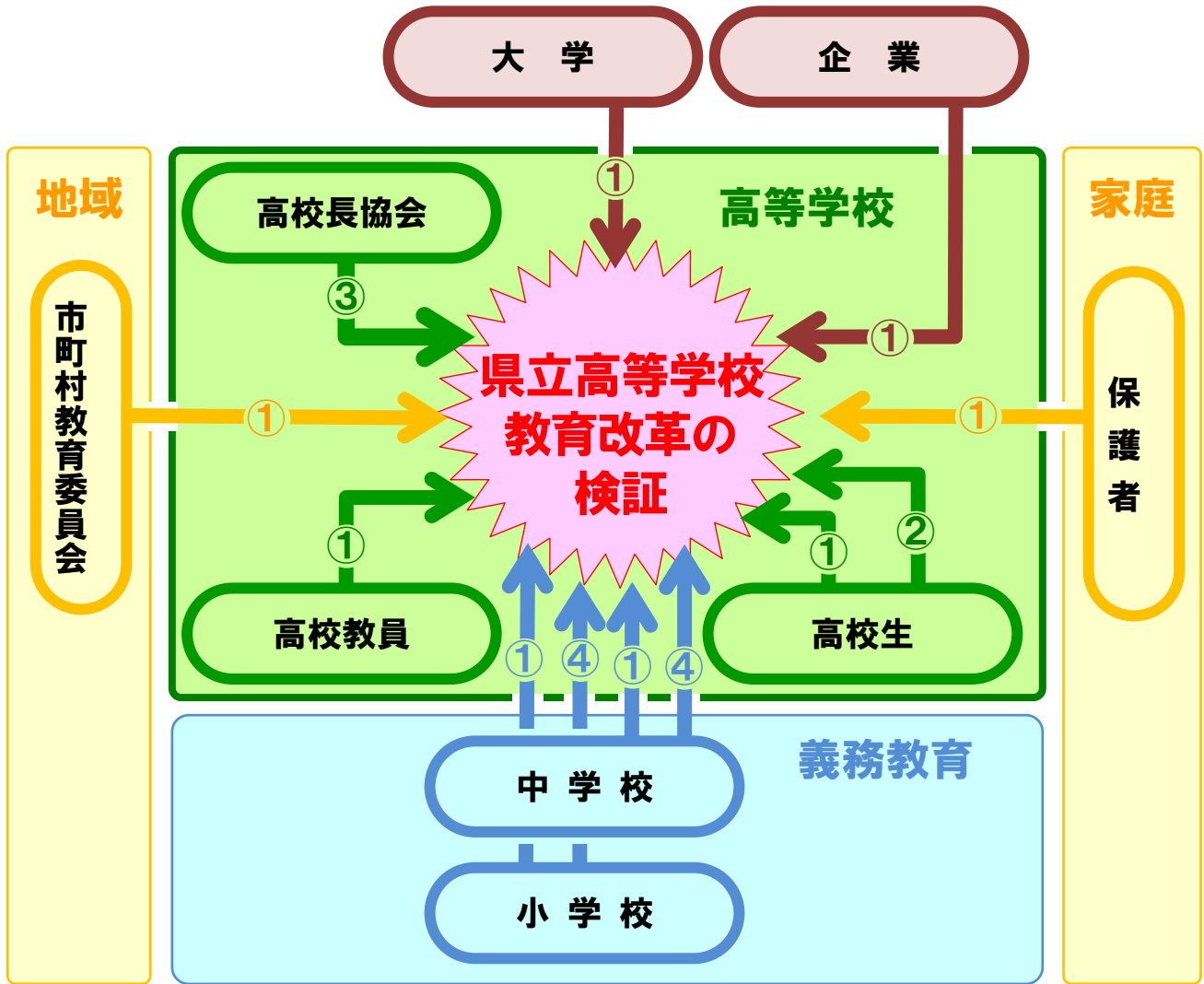
- ・ 普通科、専門学科、総合学科の学科種別
- ・ 中高一貫教育、単位制、総合選択制、3部制の定時制の課程等の取組
- ・ 学校規模 等

〔実施時期〕

- ・ 8月29日（金） 東青地区
青森東高等学校、青森工業高等学校、青森東高等学校平内校舎
- ・ 9月 3日（水） 上北地区
百石高等学校、三本木高等学校、七戸高等学校
- ・ 9月（予定） 西北地区、中南地区
- ・ 10月（予定） 三八地区
- ・ 11月（予定） 下北地区

《県立高等学校教育改革の検証のために実施する調査等イメージ》

- ①高等学校教育に関する意識調査
- ②多様な教育制度等に対するアンケート調査
- ③県高等学校長協会への意見照会
- ④県小学校長会及び県中学校長会への意見照会
- ⑤学校視察



⑤ 検討会議の委員による学校視察